

**地理情報システムでの利用を考慮した  
地域経済環境データベースの構築**

籠 義樹 高辻 秀興  
麗澤大学国際経済学部

平成14年3月27日

**RIPESS 経済社会総合研究センター**  
麗澤大学  
〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1  
Tel:04-7173-3761 / Fax:04-7173-3767

*Reitaku Institute of Political Economics and Social Studies*

# 地理情報システムでの利用を考慮した

## 地域経済環境データベースの構築

麗澤大学 国際経済学部 講師 籠 義樹

麗澤大学 国際経済学部 教授 高辻秀興

### ～目次～

1. 研究の背景と目的	1
2. 整備対象とするデータ	2
3. 座標系とメッシュ体系	
3-1 座標系の概要	5
3-2 メッシュ体系の概要	6
4. データベースにおける位置情報の統合	
4-1 方針	9
4-2 正規化座標の変換	11
4-3 メッシュデータの再集計	12
5. データベースの仕様	
5-1 全体像	13
5-2 国勢調査 TBL 群	14
5-3 事業所企業統計調査 TBL 群	25
5-4 国土数値情報土地利用 TBL 群	46
5-5 細密数値情報土地利用 TBL 群	47
5-6 時間帯・距離帯 TBL	48
5-7 土地利用規制区域 TBL	49
5-8 用途地域・容積率 TBL	50
5-9 土地利用基本計画 TBL	51
5-10 地価公示 TBL 群	52
5-11 都道府県地価調査 TBL 群	54
5-12 公共施設 TBL 群	56
5-13 発電所 TBL	58
5-14 ダム TBL	59
5-15 大気環境月間値・年間値 TBL 群	60
5-16 地点・メッシュ統合 TBL 群	69
5-17 地理情報システム用情報 TBL 群	70
参考文献	71

## 1. 研究の背景と目的

私たちが注目する社会的・経済的事象の多くは、空間的な要因とも結びついている。人口や産業の集積や、それらの都市基盤整備との関係、あるいはある種の施設の集塊的立地や排他的立地などは、そうした事象の一例である。このような空間的要因を数量的に分析する研究領域としては、従来の地理学や都市経済学に加えて、計算幾何学や空間統計学といった比較的新しい分野が発展してきている。さらに、こうした研究を支援するツールとして、地理情報システム（GIS: Geographical Information Systems）の発展が目覚しい。

空間的要因の数量的分析を行うためには、位置情報と結び付けられた社会統計データが不可欠である。従来から広く用いられてきた位置情報は行政区域であり、多種多様なデータが利用可能であるという利点はあるが、行政区域の空間的広がりは各々異なり、位置関係も一定でないなどの問題がある。そこで、統一的な位置体系において、同じ粒度で整備された社会統計データが提供されるようになってきており、国土交通省の国土数値情報や、国土地理院の細密数値情報、国勢調査や事業所企業統計調査の地域メッシュデータなどがある。また、地理情報システムなどで地図を利用するため、国土地理院において数値地図情報の整備が行われている。

こうした空間統計データは、公共団体だけでなく民間事業者を含めて、様々な機関から提供されるようになってきているが、1つの分析を行うには、異なる機関が提供する複数のデータを併せて用いる必要が生じることが通例である。そのためには、必要な空間統計データを探して入手することと、異なる主体

によって別々に整備されたデータを統合することが必要となる。

前者に関しては、空間統計データの有効活用を図ることを目的として、その所在を検索するシステムである地理情報クリアリングハウスの構築の提案が、世界的規模でなされている。クリアリングハウスは、データの仕様や品質、入手方法などを示した地理情報メタデータを管理・公開するものである。わが国においても、1995年に内閣内政審議室が設置した地理情報システム関係省庁連絡会議により、クリアリングハウスの早期整備が重要課題と位置づけられ、整備が進んでいる。

後者については、各空間統計データが基づいている座標体系やメッシュ体系の違いが問題となる。空間統計データが用いる位置情報には、緯度経度、UTM 座標系、平面直角座標系などがあり、各データの目的や地域に応じて適当な座標系が選択されている。メッシュ体系も、採用される座標系により異なる。これらを統合して使用するには、座標系の変換やメッシュデータの再集計を行わなければならないが、やや高度なコンピュータの利用と、多くの労力が必要となる。東京大学の学内共同利用施設として設立された空間情報科学研究所では、研究の効率を向上させるために、研究用空間統計データ基盤を整備して、多くの分野における空間統計データの利用支援を行っている。

私たちは、教育分野と研究分野の双方における空間統計データの効率的利用を目的とし、旧麗澤経済研究センターのプロジェクトとして、社会・経済・環境といった多岐にわたって現在利用可能な空間統計データの整備と統

合を進めてきた。このデータベースは、特に次の3点を重視して構築した。

- 1) コンピュータや座標系に関する専門知識に由来する難しさをできるだけ排し、空間統計データの利用を容易にすること。
- 2) 地理情報システムや統計パッケージ、表計算など、分析に用いられるソフトウェアでの利用を容易にすること。

- 3) ネットワークを介してデータへのアクセシビリティを向上させるとともに、各データの利用制限やライセンス形態に応じた確実なアクセス制限を行うこと。

本稿は、このプロジェクトの成果としての地域経済環境データベースについて、その技術的側面と仕様について報告し、空間統計データの利用促進を企図するものである。

## 2. 整備対象とするデータ

入手可能な空間統計データは、民間事業者が販売するものも含めれば、色々と存在する。特に、建物外形などを含んだ住宅地図は、民間事業者が提供するものが優れており、最近のカーナビゲーション・システムなどに活用されている。しかし、社会・経済・環境に関する統計データは、広い範囲で継続的な調査に基づき作成されていることを条件とすると、公共団体により提供されるものがほとんどである。本プロジェクトでは、こうした統計データを網羅的に収集している。

整備対象とするデータは表1に示す通りであり、地価や施設の立地位置、環境測定値は点データ、人口のような一定の空間の集計値として得られるものはメッシュデータとして提供される。メッシュデータとは、地域を格子状の小区画に区分したものであり、わが国では緯度経度に基づく標準地域メッシュと、平面直角座標系に基づくメッシュの2種類がよく使用される。

対象地域は基本的に全国としたが、費用などの制約がある場合には、関東付近に限定している。まず、国勢調査と事業所統計の地域メッシュデータは全国を網羅するものである

が、相応の費用が必要となるため、本プロジェクトでは関東付近の8都県の整備に留めた。また、細密数値情報は、首都圏・近畿圏・中部圏の3大都市圏における宅地利用動向調査に基づくものであり、これら3つの都市圏において入手可能であるが、本プロジェクトでは首都圏のみを対象としている。ここで、首都圏とは首都圏整備法に基づく既成市街地および近郊整備地帯を中心とする地域であり、図1の通りである。

対象年度については、時系列分析を可能にするという意味で、複数時点の収集が望ましいが、定期的な調査が行われていないものについては、例えば細密数値情報の時間帯・距離帯データのように、単年度の整備に留まらざるを得ない。

なお、土地利用データに関しては、国土数値情報と細密数値情報の2種類があるが、両者はメッシュ体系だけでなく土地利用の分類の仕方も異なり、全くの別物である。また、国土数値情報の土地利用は、調査年度間で土地利用分類に異なる部分があるので、時系列分析が困難である。一方、細密数値情報の土地利用分類は、各年度共通である。

表 1 整備対象とするデータ

データ名称	対象年度	対象地域	所管団体	座標系・メッシュ体系	内容
国勢調査	1990 1995	8都県 <sup>1)</sup>	総務省統計局	標準地域メッシュ	人口・世帯
事業所企業統計調査	1991 1996				産業
地価公示	1970～2000				地価
都道府県地価調査	1975～2000				
公共施設	1990				施設
発電所	1995	全国	国土交通省		
ダム	1995				
土地利用	1976 1987 1991			標準地域メッシュ	土地利用
細密数値情報	1974 1979 1984 1989 1994		国土地理院 首都圏 <sup>2)</sup>	平面直角座標系 10m メッシュ	都心との時間距離
時間帯・距離帯	1989				
土地規制区域	1989				
用途地域・容積率	1989				
土地利用基本計画	1989				規制・計画
大気環境月間値・年間値	1976～1999	全国	国立環境研究所	正規化座標系 <sup>3)</sup>	環境

1) 東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・福島の8都県

2) 対象範囲は図 1 の通り

3) 標準地域メッシュ（第3次地域区画）の南西端を基準とする正規化座標

## 調査対象地域

この図は、管轄廳における調査対象地域を示しています。  
なお、下記の市区町村は、それぞれの調査基準年時点において調査対象地域に含まれていなければ、土地利用データは整備されていません。

□ の市区町村は：1974年のデータ未整備  
(ダミーデータ19が入っています)  
△ の市区町村は：1974年、1979年の  
データ未整備 (ダミーデータ18が  
入っています)  
■ の市區町村は：京都府管轄法認定外地域  
の1974年、1979年のデータ未整備  
(ダミーデータ13が入っています)  
◆ の市区町村は旧五日市町の：1974年の  
データ未整備 (ダミーデータ19が  
入っています)  
○ の市區町村は：京都府管轄法認定外地域  
の全年データ未整備 (データ整備範囲  
の外縁を行政界のみ、実際の行政界  
との地域の行政界のみ、実際の行政界  
と異なります)

(注意) 千葉県富津市、葛南市については  
1974年のデータ未整備 (ダミーデータ19が  
入っています)

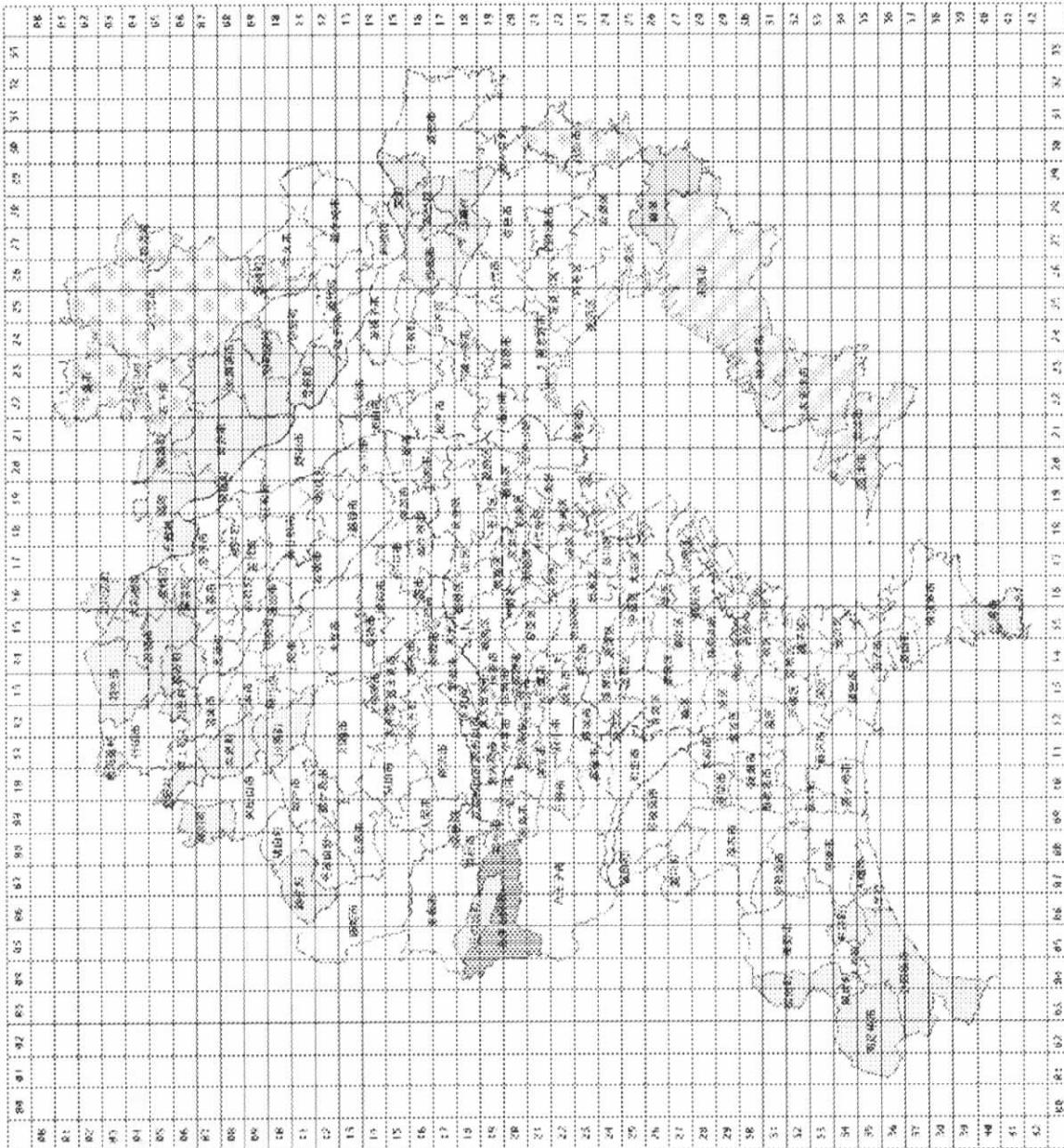


図1 細密数値情報の整備地域(出典:細密数値情報 README.HTML)

### 3. 座標系とメッシュ体系

#### 3-1 座標系の概要

座標系とは、丸い地球上の地点の位置を平面上に投影するための変換法則である。地球を回転楕円体に近似すると、地点の位置を適切に表すのは緯度経度である。これを地図のような2次元平面上に投影するために、UTM座標系と平面直角座標系（公共座標系）の2種類が、わが国ではよく用いられる。これらは、ともにGauss-Krüger投影法に基づくものである。この投影法の概略について、室田（1999）の説明を次に引用する。

Gauss-Krüger法は、地球を回転楕円体とみなし、1つの基準となる子午線（原子午線）上の距離を正しく表す等角投影法である。地球楕円体の赤道半径を $a$ 、楕円体中心から極までの距離を $b$  ( $< a$ ) とすると、離心率 $e$ は、

$$e = \frac{\sqrt{a^2 - b^2}}{a} \quad (1)$$

で定義される。地球楕円体上の点 $P$ の位置は、 $P$ における楕円体の法線が赤道面となす角 $\varphi$ （緯度）と、基準となる原子午線からの経度差 $\lambda$ の組 $(\varphi, \lambda)$ で表される。 $P(\varphi, \lambda)$ における子午線曲率半径 $M$ と卯酉線曲率半径 $N$ は、次のように与えられる。

$$M = \frac{a(1-e^2)}{W^3} \quad (2)$$

$$N = \frac{a}{W} \quad (3)$$

$$\text{ただし、 } W = (1 - e^2 \sin^2 \varphi)^{\frac{1}{2}}$$

回転楕円体 $(\varphi, \lambda)$ から平面 $(x, y)$ への等角投影を扱うには、緯度 $\varphi$ の代わりに、次式(4)で定義される異性経度 $q$ を用いる方がよい。

$$\frac{dq}{d\varphi} = \frac{M}{N \cos \varphi} \quad (4)$$

ただし、 $\varphi = 0$  のとき $q = 0$

ここで、式(4)から、次式(5)が得られる。

$$q = \log \tan \left( \frac{\pi}{4} + \frac{\varphi}{2} \right) - \frac{e}{2} \log \frac{1 + e \sin \varphi}{1 - e \sin \varphi} \quad (5)$$

一般に、 $(q, \lambda)$  から $(x, y)$ への等角投影は、

$F$ を正則関数、 $i$ を虚数単位として、

$$x + iy = F(q + i\lambda) \quad (6)$$

のように書ける。Gauss-Krüger 法は、 $F$ を原子午線 $(\lambda = 0)$ が $x$ 軸 $(y = 0)$ 上に等距離的に写るように、すなわち、

$$F(q) = \int_0^q \frac{ds}{d\varphi} d\varphi = \int_0^q M d\varphi \quad (7)$$

が成り立つように定めたものである。複素関数論の一一致の定理により、式(7)から $F$ は一意的に定まる。実際には、式(6)を

$$x + iy = F(q) + F'(q)(i\lambda) + F''(q) \frac{(i\lambda)^2}{2} + \dots \quad (8)$$

のように展開して計算する。なお、式(4)と式(7)より、次式(9)が得られる。

$$F'(q) = N \cos \varphi \quad (9)$$

Gauss-Krüger 法では、原子午線が地球楕円体と同じ長さに写され、これから離れるに従い実際よりも拡大される。この歪みを投影範囲全体で平均化させるため、UTM 座標系では 0.9996 倍に、平面直角座標系では 0.9999 倍にしている。この結果、平面直角座標系は狭い範囲であれば、UTM 座標系に比べて高精度な投影が可能であるが、原子午線から離れるにしたがって、歪みは相対的に大きくなる。よって、広い範囲の投影には UTM 座標系が、狭い範囲の投影には平面直角座標系が適して

いる。このため、1/10,000 以上の大縮尺地図では平面直角座標系が、1/200,000 以上の中縮尺地図では、UTM 座標系が用いられる。

なお、原子午線の定め方については、UTM 座標系では、経度の範囲によって全世界を 60 のゾーンに分割し、それぞれ原子午線が定められている。日本の場合、表 2 に示す 6 つのゾーンが該当し（国土地理院、1998）、関東付近は UTM54 ゾーンに該当する。一方、平面直角座標系では、日本国内は 19 のゾーンに分割され、それぞれ原点が設置されている。この原点は、都府県および北海道支庁の行政界を考慮して定められたものである。

表 2 UTM 座標系の原子午線

ゾーン No.	経度の範囲	原子午線の経度
51	$120 \leq \lambda < 126$	123
52	$126 \leq \lambda < 132$	129
53	$132 \leq \lambda < 138$	135
54	$138 \leq \lambda < 144$	141
55	$144 \leq \lambda < 150$	147
56	$150 \leq \lambda < 156$	153

(単位は度)

### 3-2 メッシュ体系の概要

メッシュ体系に関して、わが国よく使用されるものには、標準地域メッシュと平面直角座標系に基づくメッシュの 2 種類がある。

#### 3-2-1 標準地域メッシュ

標準地域メッシュは、一定間隔の緯度・経度によって地域を分割する方法の 1 つであり、全国的な規模でメッシュデータを整備する場合に採用される。この方法は、1973 年の行政管理庁告示第 143 号にて定義されている。メッシュの大きさは 4 段階からなる階層構造となっており、以下では国土地理院（1998）を引用して、その定義方法についてまとめる。

### 第 1 次地域区画

全国を 1 度ごとの経線と 3 分の 2 度(40 分)ごとの緯線によって縦横に分割して、第 1 次地域区画（第 1 次メッシュ）が形成される。これは、国土地理院発行の 1/200,000 地勢図の通常の区画に相当する。

各メッシュに付与されるメッシュコードは、区画南端の緯度を 1.5 倍した 2 桁の数字と、西端経度から 100 引いた 2 桁の数字を、緯度・経度の順に組み合わせた 4 桁の数字として定義されている（図 2）。

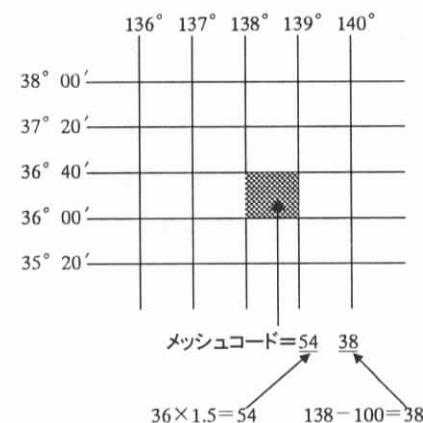


図 2 第 1 次メッシュ

### 第 2 次地域区画

第 1 次地域区画の縦横をそれぞれ 8 等分して、第 2 次地域区画（第 2 次メッシュ）が作られる。つまり、南北方向は 5 分ごと、東西方向は 7 分 30 秒ごとに区切られる。これは、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の通常の区画に相当する。

第 2 次地域区画のメッシュコードは、第 1 次地域区画を 8 等分した区画に、南北方向については南から、東西方向については西から、順に 0 から 7 までの数値を付け、これを南北方向・東西方向の順に組み合わせた 2 桁の数字を、第 1 次地域区画のメッシュコードに附加して定義される（図 3）。

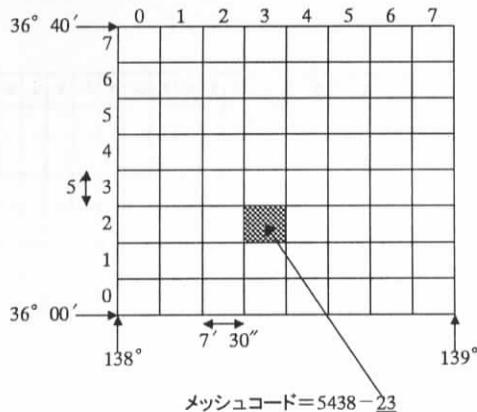


図3 第2次メッシュ

### 第3次地域区画

第2次地域区画の縦横をそれぞれ10等分して、第3次地域区画（第3次メッシュ）が作られる。つまり、南北方向は30秒ごと、東西方向は45秒ごとに区切られる。これは約1km四方の区画となる。なお、第3次地域区画は基準地域メッシュとも呼ばれ、全国的なメッシュデータの多くは、この区画ごとのデータとして整備されている。

第3次地域区画のメッシュコードは、第2次地域区画を10等分した区画に、南北方向については南から、東西方向については西から、順に0から9までの数値を付け、これを南北方向・東西方向の順に組み合わせた2桁の数字を、第2次地域区画のメッシュコードに付加して定義される（図4）。

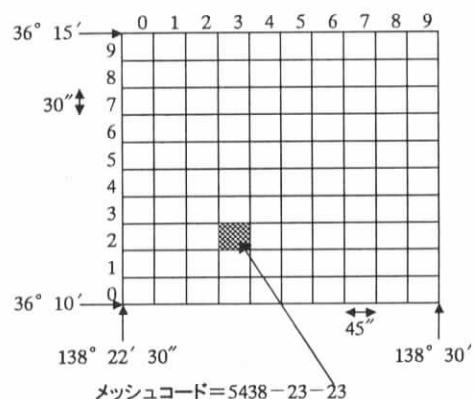


図4 第3次メッシュ

### 分割地域メッシュ

第3次地域区画（基準地域メッシュ）を、南北方向および東西方向に2等分、4等分、または8等分することにより作られる。例えば、国勢調査や事業所企業統計調査の地域メッシュデータは、人口集中地区においては、縦横2等分した分割地域メッシュ（第4次メッシュ）を設け、データを整備している。

### 3-2-2 平面直角座標系メッシュ

平面直角座標系に基づくメッシュは、3大都市圏地域メッシュとも呼ばれ、首都圏・中部圏・近畿圏の3大都市圏を対象とした、土地利用データなどの細密数値情報の作成作業で用いられる。また、これら都市圏に存在する自治体が、独自に調査を行ってメッシュデータを整備する場合にも、よく用いられる。

このメッシュは、その地域が平面直角座標系に投影される際に用いる原点座標を基準として、地図上の距離で南北方向に3km、東西方向に4kmずつ区切って作成される。よって、このメッシュは、平面座標系地図上で見た場合、同一な矩形が整然と並んだものとなる。ちなみに、標準地域メッシュは緯度経度により頂点が定義されるので、地図平面上には、少し歪んだ平行四辺形のような図形として投影される。

メッシュコードは、原点からの相対距離（地図上の座標値で単位はkm）で定義され、南北方向の相対距離 $u$ と、東西方向の相対距離 $v$ を用いて、次式により計算される4桁の数字である。なお、計算結果が3桁以下となる場合は、左側に必要な数の0を付して4桁とする。また、 $u$ と $v$ については、都市圏ごとに変換式が決められている。

$$\text{メッシュコード} = \left( \frac{u}{3} \times 100 \right) + \left( \frac{v}{4} \right) \quad (10)$$

## ファイルコード

この図は、首都圏における国際対象地図と  
ファイルコードの関係を示しています。  
ファイルコードは、緯線の 2 術の数字を先頭  
に横線の 2 術の数字を含わせて、4 術の数字で  
表します。  
この図の見方は、■の部分を例とした場  
合、ファイルコードは  
0203  
となります。  
また、0203 左上端は平面直角座標系で第 IX  
系の第点から北に 24km、東に -65km となり  
ます。

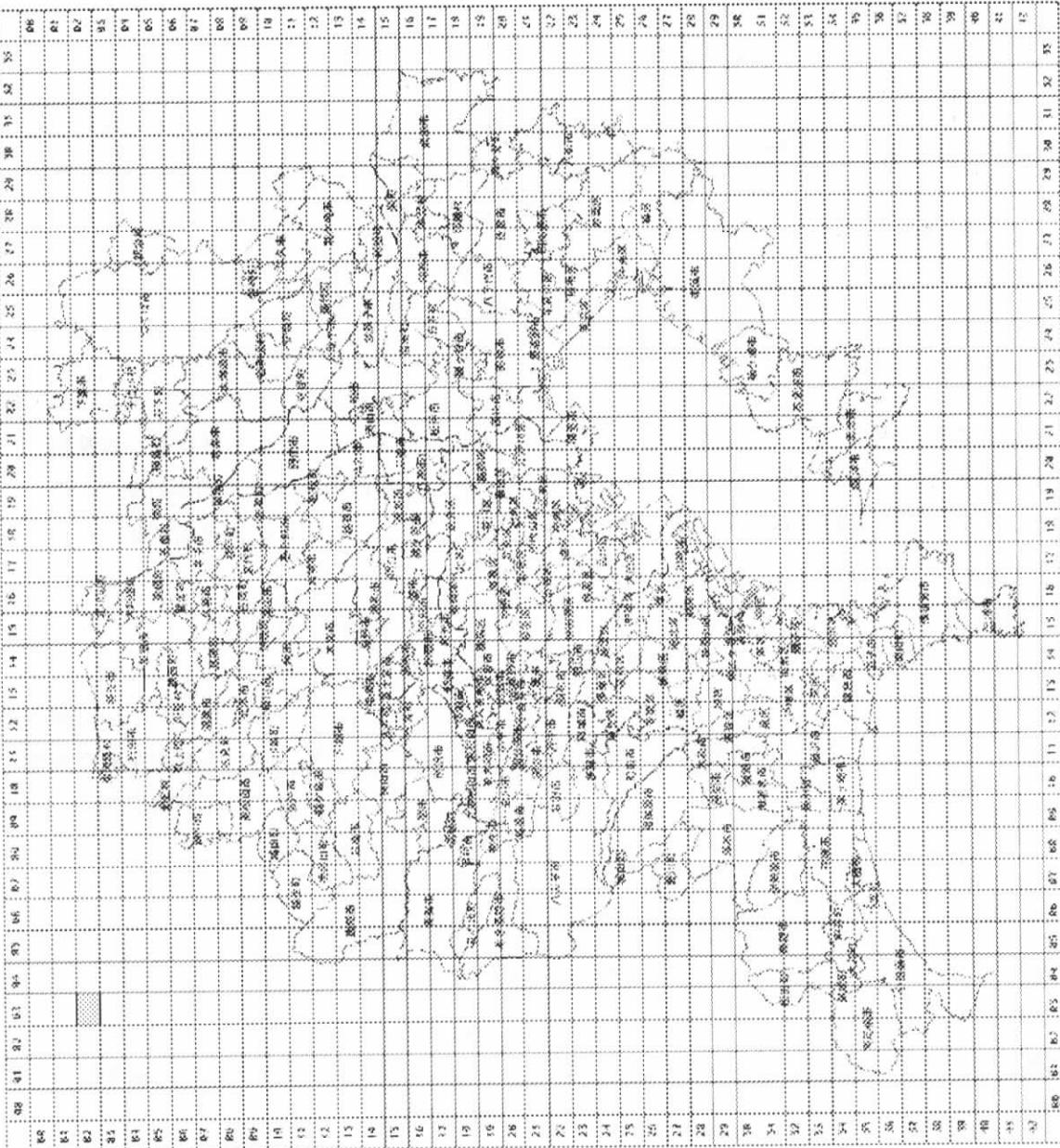


図 5 首都圏の平面直角座標系メッシュコード(出典:細密数値情報 README.HTML)

前述の通り、平面直角座標系では日本国内は全部で 19 のゾーンに分割されるが、3 大都市圏が属するゾーンと原点、並びに  $u$  と  $v$  の変換式は表 3 の通りである。また、首都圏におけるメッシュコードの例について、細密数値情報のマニュアルを引用する（図 5）。ただし、図中ではメッシュコードのことがファイルコードと表記されている。

表 3 3 大都市圏の原点と変換式

	首都圏	中部圏	近畿圏
ゾーン	IX	VII	VI
原点	経: 36° 緯: 139° 50'	経: 36° 緯: 137° 10'	経: 36° 緯: 136°
変換式	$u = -x + 30$ $v = y + 80$	$u = -x - 60$ $v = y + 80$	$u = -x - 90$ $v = y + 120$

\*  $x$  と  $y$  は、平面直角座標系における座標値であるが、 $x$  が南北方向、 $y$  が東西方向を示し、通常の  $x$  軸と  $y$  軸の方向とは逆である。

## 4. データベースにおける位置情報の統合

### 4-1 方針

#### 4-1-1 地点データ

地球上の地点を最も正確に表すのは緯度経度であるので、地点の属性情報として表されるようなデータの位置情報は、緯度経度にて統合することにした。表 1 に示した整備対象データの中で、こうした地点情報は表 4 の通りである。この中で、大気環境月間値・年間値の位置情報のみが緯度経度ではなく、標準地域メッシュ（第 3 次地域区画）の南西端を基準とする一種の正規化座標であるので、これを緯度経度に変換して、データベース上の位置情報を作成する必要がある。

ただし、地点間の距離の計算や、地理情報システムでの利用を行う際には、緯度経度を地図平面の座標系に変換する必要がある。こ

の変換作業をその都度行うのは効率的でないため、データベース上に変換後の平面座標情報も格納しておくことが望ましい。

しかし、前述の通り、日本国内では 6 つのゾーンからなる UTM 座標系と、19 のゾーンからなる平面直角座標系がよく使用されており、全てのデータについてこれら 25 種類の座標値を持つことは無駄が多い。

そこで、本プロジェクトでは、後に述べるメッシュデータが関東付近に限定されていることと、全国という広い範囲の地点を投影することを考慮し、各データについて、ゾーン No.54 の UTM 座標系（UTM54 座標系）に基づく座標値を作成することとした。もっとも、他の座標系に基づく座標値が将来必要になった場合でも、こうした位置情報は容易に追加することができる。

表 4 整備対象の地点データ

データ名称	元の位置情報	DB の位置情報
国土数値情報	地価公示	緯度経度 + UTM54 座標系
	都道府県地価調査	
	公共施設	
	発電所	
	ダム	
大気環境月間値・年間値	正規化座標	

表 5 整備対象のメッシュデータ

データ名称	元のメッシュ体系	DB のメッシュ体系	再集計
国勢調査			
事業所企業統計調査	標準地域メッシュ		無し
国土数値情報 土地利用			
細密数値情報	土地利用 時間帯・距離帯 土地利用規制区域 用途地域・容積率 土地利用基本計画	平面直角座標系 10m メッシュ 平面直角座標系 100m メッシュ	標準地域メッシュ 分類ごとの面積 平均 該当面積比率 平均 該当面積比率

#### 4-1-2 メッシュデータ

整備対象となるメッシュデータは表 5 の通りであるが、標準地域メッシュに基づくものと、平面直角座標系メッシュに基づくものの 2 種類があり、これらを併せて分析に用いるためには、どちらかのメッシュ体系に再集計しなければならない。こうした集計は、分析の目的に応じて行われるべきものではあるが、一般的な集計方法に関しては事前に行っておき、その結果をデータベースに格納しておくことは、空間統計データ利用の効率性を高めるという効果があるであろう。

ここで、平面直角座標系メッシュに基づくデータは首都圏に限定されているため、それ以外の地域の標準地域メッシュデータを、平面直角座標系に集計することには意味がない。そこで、本プロジェクトでは、カバーする地域が格段に広い標準地域メッシュデータはそのまま利用することとし、平面直角座標系メッシュデータは、標準地域メッシュ（第 3 次

地域区画）に集計し直してデータベースに格納することとした。

また、地理情報システムにおいてメッシュデータを利用する場合、メッシュを表す図形データが必要となる。これは、4 つの頂点からなるポリゴンデータとして表現されるが、その形式は地理情報システムによって異なる。本プロジェクトでは、麗澤大学の教育環境で利用されている地理情報システムを対象として、UTM54 座標系に基づくメッシュ・ポリゴンデータを、各メッシュデータについて作成し、データベースに格納した。これにより、学内教育環境においては、メッシュデータの利用が容易となる。他の地理情報システムについては、近年では異なる製品間でのデータ変換機能が充実してきているため、本メッシュ・ポリゴンデータを使用できる可能性がある。そうでない場合でも、通常若干の修正により、使用可能となることが多い。

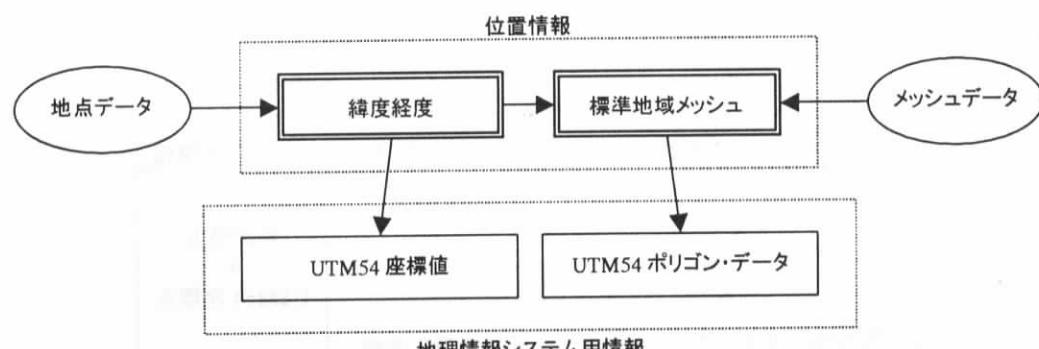


図 5 位置情報とデータの関係

#### 4-1-3 地点データとメッシュデータの統合

地点データとメッシュデータを併せて分析用いるには、何らかの工夫が必要となる。例えば、籠・高辻（2000）は、地価データを空間に適用するための、Delaunay 三角形を用いた幾何学的補間手法を提案している。こうした工夫を行わないまでも、ある空間内の点データの平均値などはよく用いられる。

こうした地点データとメッシュデータの統合的利用を行うためには、各地点データについて、それが空間的に内包されるメッシュを示す情報が必要である。本プロジェクトでは、各地点データの位置情報から、それが内包される標準地域メッシュ（第3次地域区画）を割り出し、これを地点データとメッシュデータを結びつける情報として、データベースに格納した。以上の、位置情報の関係は、図5のとおりである。

#### 4-2 正規化座標の変換

表4の地点データの中で、大気環境月間値・年間値データは、標準地域メッシュ（第3次地域区画）の南西端を基準とする正規化座標として、その位置が示されている。具体的には、メッシュ区画の南西端を原点としたときの測定地点の位置を、東西方向にx、南北方向にyとして、国土地理院1/25,000地形図から読み取り、メートル単位で示している。

単純に考えると、1/25,000地形図はUTM座標系に基づいているから、各地域に対応したUTMゾーンでのメッシュ区画の南西端座標を算出し、その東西方向にx、南北方向にyを加算すればUTM座標値が得られ、これから緯度経度が逆算できるとされがちであるが、これは正しくない。

標準地域メッシュは緯度経度に基づくから、地図平面に投影したときには、図6に示したように少し歪んだ平行四辺形のようになる。このデータが想定しているのは、標準地域メッシュ内での相対座標（P）であると思われるが、これを地図平面上におけるメッシュ区画の南西端座標からの相対座標と考えると、前述の歪みを考慮しない値となって、無視できない誤差が生じる（P\*）。つまり、xとyは、メートル単位でなく、緯度経度の差分として与えられるべきであった。

そこで、本プロジェクトでは、次式によりメッシュ区画の南西端座標からの相対座標を近似した。厳密には、1/25,000地形図に投影されたメッシュの辺の長さは、計算上のものと異なるが、その程度は1/10ミリの単位に留まるので、地図からの読み取り誤差を考えれば十分な精度と考えられる。

$$l = l_1 + \frac{x}{(|P_1P_4| + |P_2P_3|)/2} \times (l_4 - l_1) \quad (10)$$

$$b = b_1 + \frac{y}{(|P_1P_2| + |P_3P_4|)/2} \times (b_2 - b_1) \quad (11)$$

ただし、

$l_i$  は点  $P_i$  の経度

$b_i$  は点  $P_i$  の緯度

$|P_iP_j|$  は該当するUTMゾーンでの  $P_i$  と  $P_j$  間の距離

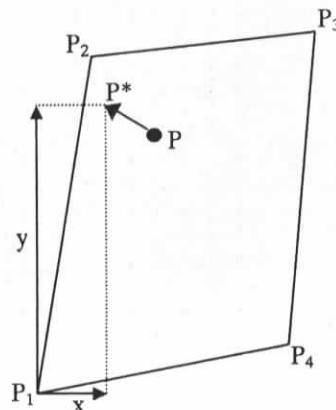


図6 地図平面に投影した標準地域メッシュ

### 4-3 メッシュデータの再集計

表5に示したように、平面直角座標系メッシュデータを、標準地域メッシュ（第3次地域区画）に再集計する。再集計の方法は、10mと100mメッシュで異なり、次の通りである。

前述のように、標準地域メッシュは緯度経度により定義されるので、平面座標系に投影すると、少し歪んだ平行四辺形のようになる。まず、10mメッシュに関しては、そのメッシュの中心座標がこの平行四辺形内に含まれるものと当該第3次地域区画メッシュに属するものとした(図7中の網掛け部分)。

この結果、第3次地域区画メッシュに属する10mメッシュの個数は10,304～10,602であり、面積に換算すると各第3次地域区画メッシュの実際の面積にほぼ一致していた。10mメッシュはその区画の土地利用を表すので、土地利用分類ごとに属する10mの個数をカウントすることで、各土地利用の面積が第3次地域区画メッシュごとに得られた。

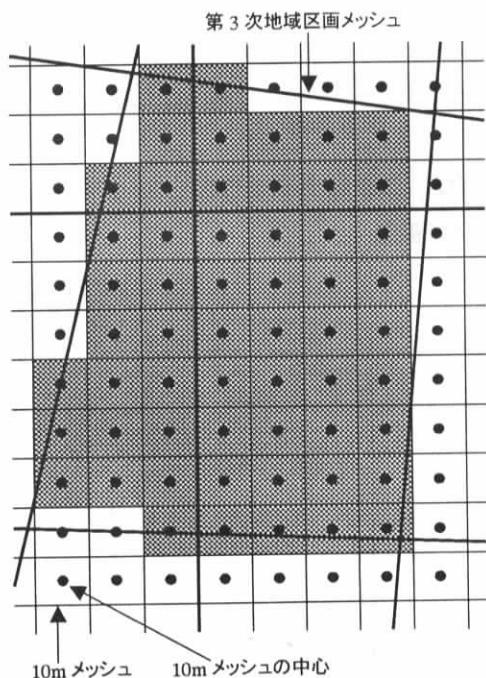


図7 10m メッシュの再集計法

一方、100mメッシュに関しては、第3次地域区画メッシュと重なる面積を計算し、その第3次地域区画メッシュに占める比率を計算した。面積は、100mメッシュを10mメッシュに刻み、第3次地域区画メッシュ内にその10mメッシュの中心が含まれるもの用いている(図8)。

この集計の結果、土地利用規制や土地利用基本計画については、第3次地域区画メッシュ内で、規制や計画の各項目が該当する面積比率が得られた。また、容積率やアクセシビリティについては、第3次地域区画の平均値が得られた。

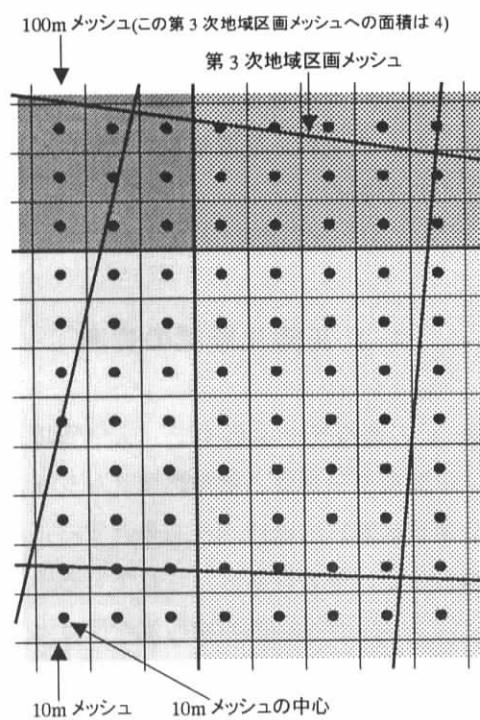


図8 100m メッシュの再集計法

## 5. データベースの仕様

### 5-1 全体像

本データベースは、リレーショナル・データベース (RDB) として実装した。RDB では、1 つ 1 つのデータは、レコードという単位でテーブルに格納される。各レコードは、幾つかのフィールドで構成され、これはデータの調査項目に該当する。1 つのテーブル内では、各レコードが一意に識別できるフィールドが必要であり、これを主キーと呼ぶ。また、テーブルは、効率的にデータを管理できるよう構成する必要があり、そのための手続きを正規化と呼ぶ。

表 1 に示した本プロジェクトの整備対象の各データは、1 つのテーブルとして構成できるものもあれば、正規化の結果複数のテーブルに分割されるものもある。また、理論上 1

つのテーブルに格納できるものでも、実際の利用しやすさを考えると、特にフィールド数が多いときには、テーブルを分割した方がよい場合がある。例えば、パーソナル・コンピュータで一般に使用される表計算ソフトウェアなどでは、256 を超えるフィールドを扱えないことが多いためである。このような場合には、同時に検索されることが多いようなフィールドをまとめて、同じ主キーを持つ幾つかのテーブルに分割する。

図 9 は、本プロジェクトで構築したデータベースのテーブル構成であり、各テーブルの設計については、それぞれ示した本稿の項目番号において説明を行っている。また、表 1 には含まれないが、行政界と各データを関連付けるために、行政界と標準地域メッシュを関連付けるテーブルなどを追加している。

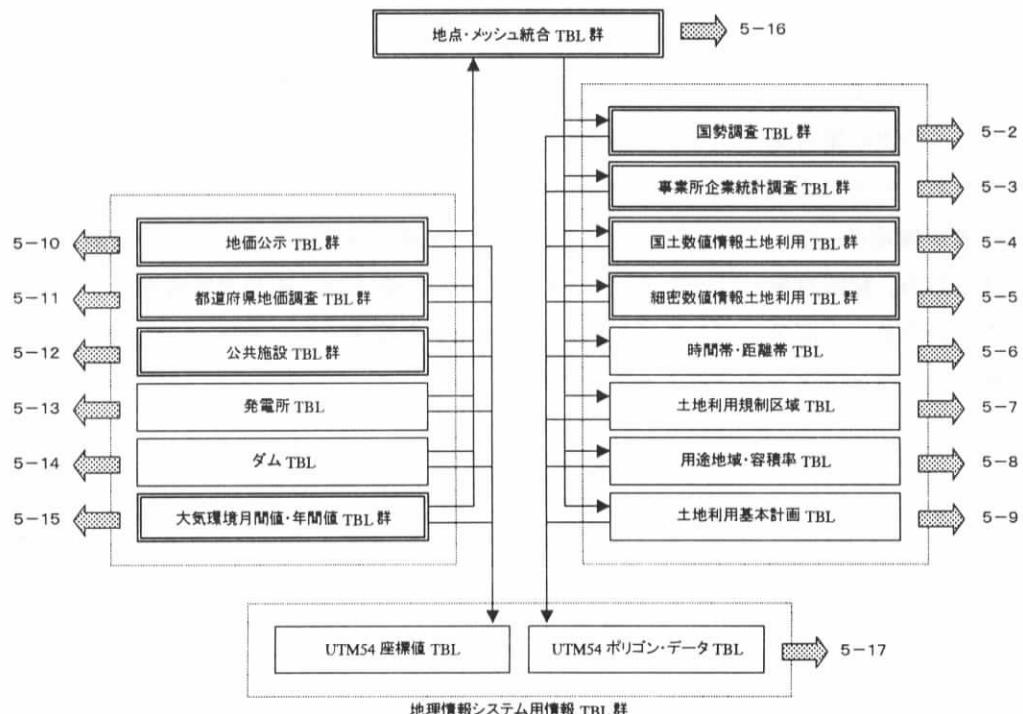


図 9 テーブル構成と説明の項目番号  
(テーブルを TBL と表記している)

## 5-2 国勢調査 TBL 群

### <テーブル構成>

テーブル名称 Kpop1990	テーブル説明 1990年度人口	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kfml1990	テーブル説明 1990年度世帯状況	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kjob1990	テーブル説明 1990年度職業	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kedu1990	テーブル説明 1990年度教育状態	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kindex1990	テーブル説明 1990年度指標項目	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kpop1995	テーブル説明 1995年度人口	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kfml1995	テーブル説明 1995年度世帯状況	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kjob1995	テーブル説明 1995年度職業	主キー meshcode	← 他のテーブル
テーブル名称 Kindex1995	テーブル説明 1995年度指標項目	主キー meshcode	← 他のテーブル

### <特記事項>

- 1) 本プロジェクトで入手した国勢調査地域メッシュデータは、ファイル単位が県ごとであったため、複数の県を合わせると、県境界領域のメッシュが重複する。なお、境界領域に位置するメッシュのデータは、当該県に含まれる分のみとなっている。そこで、こうしたメッシュのデータは合算して1つのメッシュにまとめた上で、上記テーブルに格納した。
- 2) ただし、今次収集対象とした8都県の外縁に位置するメッシュについては、当該県の分のみが含まれていることに留意する必要がある。
- 3) 居住者が極端に少ないメッシュは、プライバシー保護の観点から秘匿され、近隣メッシュに合算される。秘匿対象となったメッシュについては、総人口と総世帯数程度のデータしか得られないため、上記テーブルには格納しなかった。合算先となったメッシュは、各テーブルの秘匿フラグ・フィールドによって示される。

5-2 <Kpop1990>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hideflg	秘匿メッシュフラグ
c001	
c002	
c003	
c004	
c005	
c006	
c007	
c008	
c009	
c010	
c011	
c012	
c013	
c014	
c015	
c016	
c017	
c018	
c019	
c020	
c021	
c022	
c023	
c024	
c025	
c026	
c027	
c028	
c029	
c030	
c031	
c032	
c033	
c034	
c035	
c036	
c037	
c038	
c039	
c040	
c041	
c042	
c043	
c044	
c045	
c046	
c047	
c048	
c049	
c050	
c051	
c052	
c053	
c054	
c055	
c056	
c057	
c058	
c059	
c060	
c061	
c062	
c063	
c064	
c065	
c066	
c067	
c068	
c069	
c070	
c071	
c072	

～次頁に続く～

## 5-2 <Kpop1990～続～>

フィールド名	フィールド説明	
c073	12～14歳人口	総数
c074		男
c075		女
c076	15～17歳人口	総数
c077		男
c078		女
c079	18歳人口	総数
c080		男
c081		女
c082	19歳人口	総数
c083		男
c084		女
c085	(再掲)0～14歳人口	総数
c086		男
c087		女
c088	(再掲)15歳以上人口	総数
c089		男
c090		女
c091	(再掲)15～64歳人口	総数
c092		男
c093		女
c094	(再掲)20歳以上人口	総数
c095		男
c096		女
c097	(再掲)65歳以上人口	総数
c098		男
c099		女

## 5-2 <Kfml1990>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hideflg	秘匿メッシュフラグ
c196	世帯の種類別世帯
c197	【秘匿措置を行っていない数値】
c198	一般世帯数
c199	施設等の世帯数
c200	世帯総数(世帯の種類不詳を含む)
c201	一般世帯数
c202	施設等の世帯数
c203	世帯人員別一般世帯
c204	世帯人員別
c205	1人世帯数
c206	2人世帯数
c207	3人世帯数
c208	4人世帯数
c209	5人世帯数
c210	6人世帯数
c211	7人以上の世帯数
c212	世帯人員別一般世帯
c213	家族類型別(1)
c214	親族世帯総数
c215	核家族世帯数
c216	その他の親族世帯数
c217	世帯人員別一般世帯
c218	6歳未満親族のいる世帯数
c219	65歳以上親族のいる世帯数
c220	世帯人員別一般世帯
c221	通勤・通学者のみの世帯で12歳未満通学者がいる世帯数
c222	通勤・通学者のほかは高齢者のみの世帯数
c223	通勤・通学者のほかは高齢者と幼児のみの世帯数
c224	世帯の建て方別住宅に住む一般世帯
c225	経済構成別(1)
c226	農林漁業就業者世帯数
c227	農林漁業・非農林漁業就業者混合世帯数
c228	非農林漁業就業者世帯数
c229	非就業者世帯数
c230	家計の収入の種類別一般世帯
c231	賃金・給料が主な世帯数
c232	農業収入が主な世帯数
c233	世帯の建て方別住宅に住む一般世帯
c234	一戸建世帯数
c235	長屋建世帯数
c236	共同住宅世帯数
c237	1・2階建共同住宅世帯数
c238	3～5階建共同住宅世帯数
c239	6階建以上共同住宅世帯数
c240	住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯
c241	住宅に住む世帯数
c242	持ち家世帯数
c243	公営・公園・公社の借家世帯数
c244	民営の借家世帯数
c245	給与住宅世帯数
c246	間借り世帯数

5-2 <Kjob1990>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hideflg	秘匿メッシュフラグ
c100	
c101	
c102	
c103	
c104	
c105	
c106	
c107	
c108	
c109	
c110	
c111	
c112	
c113	
c114	
c115	
c116	
c117	
c118	
c119	
c120	
c121	
c122	
c123	
c124	
c125	
c126	
c127	
c128	
c129	
c130	
c131	
c132	
c133	
c134	
c135	
c136	
c137	
c138	
c139	
c140	
c141	
c142	
c143	
c144	
c145	
c146	
c147	
c148	
c149	
c150	
c151	
c152	
c153	
c154	
c155	
c156	
c157	
c158	
c159	
c160	
c161	
c162	
c163	
c164	
c165	

～次頁に続く～

5-2 < Kjob1990～続～>

フィールド名	フィールド説明	
c270	専門的・技術的職業従事者	総数
c271		男
c272		女
c273		総数
c274	管理的職業従事者	男
c275		女
c276		総数
c277	事務従事者	男
c278		女
c279		総数
c280	販売従事者	男
c281		女
c282		総数
c283	サービス業従事者	男
c284		女
c285		総数
c286	保安職業従事者	男
c287		女
c288		総数
c289	農林漁業従事者	男
c290		女
c291		総数
c292	運輸通信従事者	男
c293		女
c294		総数
c295	技能工・探掘・製造・建設作業者	男
c296		女

5-2 < Kedu1990 >

フィールド名	フィールド説明	
meshcode	標準地域メッシュコード	
hideflg	秘匿メッシュフラグ	
c166	未就学者総数	総数
c167		男
c168		女
c169		総数
c170	幼稚園在園者	男
c171		女
c172		総数
c173	保育園・保育所・その他	男
c174		女
c175		総数
c176	在学者総数	男
c177		女
c178		総数
c179	小学校・中学校在学者	男
c180		女
c181		総数
c182	高校在学者	男
c183		女
c184		総数
c185	短大・高専・大学・大学院在学者	男
c186		女
c187		総数
c188	卒業者総数	男
c189		女
c190		総数
c191	高校・旧中卒業者	男
c192		女
c193		総数
c194	短大・高専・大学・大学院卒業者	男
c195		女

5-2 <Kindex1990>

フィールド名称	フィールド説明	
meshcode	標準地域メッシュコード	
hideflg	秘匿メッシュフラグ	
c297	従業地・通学地	当地に常住する15歳以上従業者・就学者
c298		就業者
c299		15歳以上通学者
c300		「自宅」で従業
c301		就業者数
c302		「自宅外の自市区町村」で従業・通学
c303		就業者
c304		15歳以上通学者
c305		「県内他市区町村」で従業・通学(「自市内他区で従業・通学」を含む)
c306		就業者
c307		15歳以上通学者
c308		「他県」で従業・通学
c309		就業者
c310	利用交通手段	15歳以上通学者
c311		徒歩だけ
c312		JR利用
c313		JR以外の鉄道・電車利用
c314		乗合バス利用
c315		自家用車利用
c316		オートバイ利用
c317		自転車利用
c318	通勤・通学時間	15歳以上通勤者・通学者数(通勤・通学時間「不詳」を含む)
c319		通勤者
c320		15歳以上通学者
c321		通勤・通学時間が「0~29分」
c322		通勤者
c323		15歳以上通学者
c324		通勤・通学時間が「30~59分」
c325		通勤者
c326		15歳以上通学者
c327		通勤・通学時間が「1時間~1時間29分」
c328	人口移動(5年前の常住地別5歳以上人口	通勤者
c329		15歳以上通学者
c330		通勤・通学時間が「1時間30分以上」
c331		通勤者
c332		15歳以上通学者
c333		総数
c334		男
c335		女
c336		総数
c337		男
c338		女
c339		総数
c340		男
c341		女
c342		総数
c343		男
c344		女
c345		総数
c346		男
c347		女
c348		総数
c349		男
		女

## 5-2 <Kpop1995>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hideflg	秘匿メッシュフラグ
c001	
c002	
c003	
c004	
c005	
c006	
c007	
c008	
c009	
c010	
c011	
c012	
c013	
c014	
c015	
c016	
c017	
c018	
c019	
c020	
c021	
c022	
c023	
c024	
c025	
c026	
c027	
c028	
c029	
c030	
c031	
c032	
c033	
c034	
c035	
c036	
c037	
c038	
c039	
c040	
c041	
c042	
c043	
c044	
c045	
c046	
c047	
c048	
c049	
c050	
c051	
c052	
c053	
c054	
c055	
c056	
c057	
c058	
c059	
c060	
c061	
c062	
c063	
c064	
c065	
c066	
c067	
c068	
c069	
c070	
c071	
c072	

～次頁に続く～

5-2 <Kpop1995～続～>

フィールド名	フィールド説明	
c073	12～14歳人口	総数
c074		男
c075		女
c076	15～17歳人口	総数
c077		男
c078		女
c079	18歳人口	総数
c080		男
c081		女
c082	19歳人口	総数
c083		男
c084		女
c085	(再掲)0～14歳人口【秘匿措置を行っていない数値】	総数
c086		男
c087		女
c088	(再掲)15～64歳人口【秘匿措置を行っていない数値】	総数
c089		男
c090		女
c091	(再掲)65歳以上人口【秘匿措置を行っていない数値】	総数
c092		男
c093		女
c094	(再掲)0～14歳人口【秘匿(合算)措置を行った数値】	総数
c095		男
c096		女
c097	(再掲)15歳以上人口	総数
c098		男
c099		女
c100	(再掲)15～64歳人口【秘匿(合算)措置を行った数値】	総数
c101		男
c102		女
c103	(再掲)20歳以上人口	総数
c104		男
c105		女
c106	(再掲)65以上歳人口【秘匿(合算)措置を行った数値】	総数
c107		男
c108		女
c109	(再掲)70以上歳人口	総数
c110		男
c111		女
c112	外国人人口	総数
c113		男
c114		女

5-2 <Kfm1995>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hidefig	秘匿メッシュフラグ
c184	世帯の種類別世帯 【秘匿措置を行っていない数値】
c185	世帯総数(世帯の種類不詳を含む。)
c186	一般世帯数
c187	施設等の世帯数
c188	世帯総数(世帯の種類不詳を含む。)
c189	一般世帯数
c190	施設等の世帯数
c191	世帯人員別(1) 世帯主の年齢が20~29歳の1人世帯数
c192	2人世帯数
c193	3人世帯数
c194	4人世帯数
c195	5人世帯数
c196	6人世帯数
c197	7人以上世帯数
c198	家族類型別(1) 親族世帯総数
c199	核家族世帯総数
c200	その他の親族世帯数
c201	家族類型別(2) 6歳未満親族のいる世帯数
c202	65歳以上親族のいる世帯数
c203	家族類型別(3) 高齢単身世帯数
c204	高齢夫婦世帯数
c205	経済構成別(1) 農林漁業就業者世帯数
c206	農林漁業・非農林漁業就業者混合世帯数
c207	非農林漁業就業者世帯数
c208	非就業者世帯数
c209	住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯 住宅の所有の関係別(1) 住宅に住む一般世帯数
c210	持ち家世帯数
c211	公営・公団・公社の借家世帯数
c212	民営の借家世帯数
c213	給与住宅世帯数
c214	間借り世帯数
c215	住宅の建て方別住宅に住む一般世帯 住宅の建て方別(1) 一戸建世帯数
c216	長屋健世帯数
c217	共同住宅世帯数
c218	住宅の建て方別(2) 1・2階建設共同住宅世帯数
c219	3~5階建設共同住宅世帯数
c220	6階建以上設共同住宅世帯数
c221	住宅に住む一般世帯の総室数
c222	住宅に住む一般世帯の延べ面積(m <sup>2</sup> )
c223	0~29m <sup>2</sup> の世帯数
c224	30~49m <sup>2</sup> の世帯数
c225	50~69m <sup>2</sup> の世帯数
c226	70~99m <sup>2</sup> の世帯数
c227	100~149m <sup>2</sup> の世帯数
c228	150m <sup>2</sup> 以上の世帯数

5-2 <Kjob1995>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
hidefig	秘匿メッシュフラグ
c115	
c116	
c117	
c118	
c119	
c120	
c121	
c122	
c123	
c124	
c125	
c126	
c127	
c128	
c129	
c130	
c131	
c132	
c133	
c134	
c135	
c136	
c137	
c138	
c139	
c140	
c141	
c142	
c143	
c144	
c145	
c146	
c147	
c148	
c149	
c150	
c151	
c152	
c153	
c154	
c155	
c156	
c157	
c158	
c159	
c160	
c161	
c162	
c163	
c164	
c165	
c166	
c167	
c168	
c169	
c170	
c171	
c172	
c173	
c174	
c175	
c176	
c177	
c178	
c179	
c180	
c181	
c182	
c183	
従業上の地位	労働力人口
	就業者
	完全失業者
	非労働力人口
	雇用者(役員を含む。)
	自営業主(家庭内職者を含む。)
	家族従業者
産業分類	第1次産業就業者
	農業就業者
	林業就業者
	漁業就業者
	第2次産業就業者
	鉱業就業者
	建設業就業者
	製造業就業者
	第3次産業就業者
	電気・ガス・熱供給・水道業就業者
	運輸・通信業就業者
	卸売・小売業、飲食店就業者
	金融・保険業就業者
	不動産業就業者
	サービス業就業者
	公務(ほかに分類されないもの)就業者

～次頁に続く～

5-2 <Kjob1995～続～>

フィールド名	フィールド説明	
c299	専門的・技術的職業従事者	総数
c300		男
c301		女
c302	管理的職業従事者	総数
c303		男
c304		女
c305	事務従事者	総数
c306		男
c307		女
c308	販売従事者	総数
c309		男
c310		女
c311	サービス職業従事者	総数
c312		男
c313		女
c314	保安職業従事者	総数
c315		男
c316		女
c317	農林漁業作業者	総数
c318		男
c319		女
c320	運輸・通信従事者	総数
c321		男
c322		女
c323	技能工、採掘・製造・建設作業者及び労務作業者	総数
c324		男
c325		女

5-2 <Kindex1995>

フィールド名	フィールド説明		
meshcode	標準地域メッシュコード		
hideflg	秘匿メッシュフラグ		
c326	従業・通学時の世帯の状況	従業・通学時の世帯の状況別住宅に住む一般世帯	通勤・通学時の世帯の状況別住宅に住む一般 通勤・通学時のほかは高齢者のみの世帯 通勤・通学時のほかは高齢者と幼児のみの世帯
c327			総数
c328			
c329	従業地・通学地	当地に常住する15歳以上就業者・通学者	就業者
c330			15歳以上通学者
c331		「自宅」で従業	就業者数
c332			総数
c333		「自宅外の自市区町村」で従業・通学	就業者
c334			15歳以上通学者
c335		「県内他市区町村」で従業・通学(「自市内他区で従業・通学」を含む。)	総数
c336			就業者
c337			15歳以上通学者
c338		「他県」で従業・通学	総数
c339			就業者
c340			15歳以上通学者
c341			

### 5-3 事業所企業統計調査 TBL 群

#### <テーブル構成>

テーブル名称	テーブル説明	主キー	
Jsum1991	1991年度産業別総数	meshcode	←他のテーブル
Jshop1991	1991年度小売業	meshcode	←他のテーブル
Jservice1991	1991年度サービス業	meshcode	←他のテーブル
Jsecind1991	1991年度第2次産業	meshcode	←他のテーブル
Jscale1991	1991年度規模別分類	meshcode	←他のテーブル
Jpublic1991	1991年度公的事業	meshcode	←他のテーブル
Jorg1991	1991年度経営組織別分類	meshcode	←他のテーブル
Jinfr1991	1991年度都市基盤事業	meshcode	←他のテーブル
Jindex1991	1991年度指標項目	meshcode	←他のテーブル
Jsum1996	1996年度産業別総数	meshcode	←他のテーブル
Jshop1996	1996年度小売業	meshcode	←他のテーブル
Jservice1996	1996年度サービス業	meshcode	←他のテーブル
Jsecind1996	1996年度第2次産業	meshcode	←他のテーブル
Jscale1996	1996年度規模別分類	meshcode	←他のテーブル
Jpublic1996	1996年度公的事業	meshcode	←他のテーブル
Jorg1996	1996年度経営組織別分類	meshcode	←他のテーブル
Jinfr1996	1996年度都市基盤事業	meshcode	←他のテーブル
Jindex1996	1996年度指標項目	meshcode	←他のテーブル
Jcompany1996	1996年度会社企業	meshcode	←他のテーブル

#### <特記事項>

- 国勢調査地域メッシュデータの場合と同様に、県境界に位置して重複するメッシュは、合算により 1 つのメッシュにまとめてある。

5-3 <Jsum1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c001	全産業 事業所数 従業者総数 従業者男
c002	事業所数
c003	従業者総数 従業者男
c004	第2次産業 事業所数
c005	従業者総数 従業者男
c006	事業所数
c085	従業者総数 従業者男
c086	第3次産業 事業所数
c087	従業者総数 従業者男

5-3 <Jservice1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c154	サービス業 事業所数 従業者総数 従業者男
c155	事業所数 従業者総数 従業者男
c156	物品販賣業 事業所数 従業者総数 従業者男
c157	事業所数 従業者総数 従業者男
c158	旅館、その他の宿泊所 事業所数 従業者総数 従業者男
c159	事業所数 従業者総数 従業者男
c160	事業所数 従業者総数 従業者男
c161	事業所数 従業者総数 従業者男
c162	事業所数 従業者総数 従業者男
c163	事業所数 従業者総数 従業者男
c164	洗濯・理容・浴場業 事業所数 従業者総数 従業者男
c165	事業所数 従業者総数 従業者男
c166	事業所数 従業者総数 従業者男
c167	事業所数 従業者総数 従業者男
c168	事業所数 従業者総数 従業者男
c169	事業所数 従業者総数 従業者男
c170	事業所数 従業者総数 従業者男
c171	事業所数 従業者総数 従業者男
c172	事業所数 従業者総数 従業者男
c173	事業所数 従業者総数 従業者男
c174	事業所数 従業者総数 従業者男
c175	事業所数 従業者総数 従業者男
c176	放送業 事業所数 従業者総数 従業者男
c177	事業所数 従業者総数 従業者男
c178	事業所数 従業者総数 従業者男
c179	事業所数 従業者総数 従業者男
c180	自動車整備業 事業所数 従業者総数 従業者男
c181	事業所数 従業者総数 従業者男
c182	事業所数 従業者総数 従業者男
c183	事業所数 従業者総数 従業者男
c184	事業所数 従業者総数 従業者男
c185	事業所数 従業者総数 従業者男
c186	事業所数 従業者総数 従業者男
c187	事業所数 従業者総数 従業者男
c188	協同組合(他に分類されないもの) 事業所数 従業者総数 従業者男
c189	事業所数 従業者総数 従業者男
c190	事業所数 従業者総数 従業者男
c191	情報・調査・広告業 事業所数 従業者総数 従業者男
c192	事業所数 従業者総数 従業者男
c193	事業所数 従業者総数 従業者男
c194	事業所数 従業者総数 従業者男
c195	事業所数 従業者総数 従業者男
c196	専門サービス業(他に分類されないもの) 事業所数 従業者総数 従業者男
c197	
c198	

5-3 <Jshop1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c094	卸売、小売業、飲食店
c095	
c096	
c097	
c098	
c099	
c100	
c101	
c102	
c103	
c104	
c105	
c106	
c107	
c108	
c109	
c110	
c111	
c112	
c113	
c114	
c115	
c116	
c117	
c118	
c119	
c120	
c121	
c122	
c123	産業別事業所数及び従業者数
c124	
c125	
c126	
c127	
c128	
c129	
c130	
c131	
c132	
c133	
c134	
c135	
c136	
c137	
c138	
c139	
c140	
c141	
c142	
c143	
c144	
c145	
c146	
c147	
c148	
c149	
c150	
c151	
c152	
c153	

5-3 <Jsecind1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c007	鉱業
c008	事業所数 従業者総数 従業者男
c009	事業所数 従業者総数 従業者男
c010	建設業
c011	事業所数 従業者総数 従業者男
c012	製造業
c013	事業所数 従業者総数 従業者男
c014	事業所数 従業者総数 従業者男
c015	事業所数 従業者総数 従業者男
c016	事業所数 従業者総数 従業者男
c017	食料品製造業
c018	事業所数 従業者男
c019	事業所数 従業者総数 従業者男
c020	飲料・飼料・たばこ製造業
c021	事業所数 従業者総数 従業者男
c022	繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く。)
c023	事業所数 従業者総数 従業者男
c024	事業所数 従業者総数 従業者男
c025	衣服、その他の繊維製品製造品
c026	事業所数 従業者総数 従業者男
c027	木材・木製品製造業(家具を除く)
c028	事業所数 従業者総数 従業者男
c029	事業所数 従業者総数 従業者男
c030	事業所数 従業者総数 従業者男
c031	事業所数 従業者総数 従業者男
c032	家具・装備品製造業
c033	事業所数 従業者総数 従業者男
c034	事業所数 従業者総数 従業者男
c035	パルプ・紙・紙加工品製造業
c036	事業所数 従業者総数 従業者男
c037	事業所数 従業者総数 従業者男
c038	出版・印刷・同関連産業
c039	事業所数 従業者総数 従業者男
c040	事業所数 従業者総数 従業者男
c041	化学工業
c042	事業所数 従業者総数 従業者男
c043	事業所数 従業者総数 従業者男
c044	石油製品・石炭製品製造業
c045	事業所数 従業者総数 従業者男
c046	事業所数 従業者総数 従業者男
c047	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
c048	事業所数 従業者総数 従業者男
c049	事業所数 従業者総数 従業者男
c050	ゴム製品製造業
c051	事業所数 従業者総数 従業者男
c052	事業所数 従業者総数 従業者男
c053	なめし革・同製品・毛皮製造業
c054	事業所数 従業者総数 従業者男
c055	事業所数 従業者総数 従業者男
c056	窯業・土石製品製造業
c057	事業所数 従業者総数 従業者男
c058	事業所数 従業者総数 従業者男
c059	事業所数 従業者総数 従業者男
c060	事業所数 従業者総数 従業者男
c061	事業所数 従業者総数 従業者男
c062	非鉄金属製造業
c063	事業所数 従業者総数 従業者男
c064	事業所数 従業者総数 従業者男
c065	金属製品製造業
c066	事業所数 従業者総数 従業者男
c067	事業所数 従業者総数 従業者男
c068	一般機械器具製造業
c069	事業所数 従業者総数 従業者男
c070	事業所数 従業者総数 従業者男
c071	電気機械器具製造業
c072	事業所数 従業者総数 従業者男
c073	事業所数 従業者総数 従業者男
c074	輸送用機械器具製造業
c075	事業所数 従業者総数 従業者男
c076	事業所数 従業者総数 従業者男
c077	精密機械器具製造業
c078	事業所数 従業者総数 従業者男
c079	事業所数 従業者総数 従業者男
c080	武器製造業
c081	事業所数 従業者総数 従業者男
c082	その他製造業
c083	事業所数 従業者総数 従業者男
c084	

5-3 <Jscale1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c229	製造業 1~9人 事業所数 従業者総数 従業者男
c230	製造業 10~29人 事業所数 従業者総数 従業者男
c231	製造業 30~99人 事業所数 従業者総数 従業者男
c232	製造業 99~299人 事業所数 従業者総数 従業者男
c233	製造業 300~499人 事業所数 従業者総数 従業者男
c234	製造業 500~999人 事業所数 従業者総数 従業者男
c235	製造業 1,000人以上 事業所数 従業者総数 従業者男
c236	卸売・小売業、飲食店 1~9人 事業所数 従業者総数 従業者男
c237	卸売・小売業、飲食店 10~29人 事業所数 従業者総数 従業者男
c238	卸売・小売業、飲食店 30~49人 事業所数 従業者総数 従業者男
c239	卸売・小売業、飲食店 50~99人 事業所数 従業者総数 従業者男
c240	卸売・小売業、飲食店 100~299人 事業所数 従業者総数 従業者男
c241	卸売・小売業、飲食店 300人以上 事業所数 従業者総数 従業者男
c242	サービス業 1~9人 事業所数 従業者総数 従業者男
c243	サービス業 10~29人 事業所数 従業者総数 従業者男
c244	サービス業 30~49人 事業所数 従業者総数 従業者男
c245	サービス業 50~99人 事業所数 従業者総数 従業者男
c246	サービス業 100~299人 事業所数 従業者総数 従業者男
c247	サービス業 300人以上 事業所数 従業者総数 従業者男
c248	
c249	
c250	
c251	
c252	
c253	
c254	
c255	
c256	
c257	産業・従業者規模別事業所数及び従業者数
c258	
c259	
c260	
c261	
c262	
c263	
c264	
c265	
c266	
c267	
c268	
c269	
c270	
c271	
c272	
c273	
c274	
c275	
c276	
c277	
c278	
c279	
c280	
c281	
c282	
c283	
c284	
c285	

～次頁に続く～

5-3 <Jscale1991～続～>

フィールド名	フィールド説明
c286	1～4人 事業所数 従業者総数 従業者男
c287	5～9人 事業所数 従業者総数 従業者男
c288	10～19人 事業所数 従業者総数 従業者男
c289	20～29人 事業所数 従業者総数 従業者男
c290	30～49人 事業所数 従業者総数 従業者男
c291	50～99人 事業所数 従業者総数 従業者男
c292	100～299人 事業所数 従業者総数 従業者男
c293	300人以上 事業所数 従業者総数 従業者男
c294	
c295	
c296	
c297	
c298	
c299	
c300	
c301	
c302	
c303	
c304	
c305	
c306	
c307	
c308	
c309	

5-3 <Jpublic1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c199	医療業 事業所数 従業者総数 従業者男
c200	保険衛生 事業所数 従業者総数 従業者男
c201	廃棄物処理業 事業所数 従業者総数 従業者男
c202	宗教 事業所数 従業者総数 従業者男
c203	教育 事業所数 従業者総数 従業者男
c204	社会保険、社会福祉 事業所数 従業者総数 従業者男
c205	学術研究機関 事業所数 従業者総数 従業者男
c206	政治・経済・文化団体 事業所数 従業者総数 従業者男
c207	その他のサービス業 事業所数 従業者総数 従業者男
c208	公務(他に分類されないもの) 事業所数 従業者総数 従業者男
c209	
c210	
c211	
c212	
c213	
c214	
c215	
c216	
c217	
c218	
c219	
c220	
c221	
c222	
c223	
c224	
c225	
c226	
c227	
c228	

5-3 <Jorg1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c310	
c311	
c312	
c313	
c314	
c315	
c316	
c317	
c318	
c319	
c320	
c321	
c322	
c323	
c324	
c325	
c326	
c327	
c328	
c329	
c330	
c331	
c332	
c333	
c334	
c335	
c336	
c337	
c338	
c339	
c340	
c341	
c342	
c343	
c344	
c345	
c346	
c347	
c348	
c349	
c350	
c351	

5-3 <Jinfr1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c088	
c089	
c090	
c091	
c092	
c093	

5-3 <Jindex1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c352	
c353	
c354	
c355	
c356	
c357	

5-3 <Jsum1996>

フィールド名稱	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c001	全産業 事業所数
c002	全産業 従業者総数
c003	全産業 従業者男
c004	産業別事業所数及び従業者数 事業所数
c005	産業別事業所数及び従業者数 従業者総数
c006	産業別事業所数及び従業者数 従業者男
c094	第2次産業 事業所数
c095	第2次産業 従業者総数
c096	第2次産業 従業者男
	第3次産業 事業所数
	第3次産業 従業者総数
	第3次産業 従業者男

5-3 <Jshop1996>

フィールド名稱	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c148	卸売・小売業、飲食店 事業所数
c149	卸売・小売業、飲食店 従業者総数
c150	卸売・小売業、飲食店 従業者男
c151	卸売業 事業所数
c152	卸売業 従業者総数
c153	卸売業 従業者男
c154	各種商品卸売業 事業所数
c155	各種商品卸売業 従業者総数
c156	各種商品卸売業 従業者男
c157	織維・衣服等卸売業 事業所数
c158	織維・衣服等卸売業 従業者総数
c159	織維・衣服等卸売業 従業者男
c160	飲食料品卸売業 事業所数
c161	飲食料品卸売業 従業者総数
c162	飲食料品卸売業 従業者男
c163	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 事業所数
c164	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 従業者総数
c165	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 従業者男
c166	機械器具卸売業 事業所数
c167	機械器具卸売業 従業者総数
c168	機械器具卸売業 従業者男
c169	その他の卸売業 事業所数
c170	その他の卸売業 従業者総数
c171	その他の卸売業 従業者男
c172	小売業 事業所数
c173	小売業 従業者総数
c174	小売業 従業者男
c175	各種商品小売業 事業所数
c176	各種商品小売業 従業者総数
c177	各種商品小売業 従業者男
c178	百貨店 事業所数
c179	百貨店 従業者総数
c180	百貨店 従業者男
c181	その他の各種商品小売業(従業員が常時50人未満のもの) 事業所数
c182	その他の各種商品小売業(従業員が常時50人未満のもの) 従業者総数
c183	その他の各種商品小売業(従業員が常時50人未満のもの) 従業者男

～次頁に続く～

5-3 <Jshop1996~続~>

フィールド名	フィールド説明	
c184	織物・衣服・身の回り品小売業	事業所数
c185		従業者総数
c186		従業者男
c187		事業所数
c188	飲食料品小売業	従業者総数
c189		従業者男
c190		事業所数
c191		従業者総数
c192		従業者男
c193		事業所数
c194	酒小売業	従業者総数
c195		従業者男
c196		事業所数
c197	自動車・自転車小売業	従業者総数
c198		従業者男
c199		事業所数
c200	家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	従業者総数
c201		従業者男
c202		事業所数
c203	その他の小売業	従業者総数
c204		従業者男
c205		事業所数
c206	医薬品・化粧品小売業	従業者総数
c207		従業者男
c208		事業所数
c209	書籍・文房具小売業	従業者総数
c210		従業者男
c211		事業所数
c212	飲食店	従業者総数
c213		従業者男
c214		事業所数
c215	一般飲食店	従業者総数
c216		従業者男
c217		事業所数
c218	その他の飲食店	従業者総数
c219		従業者男
c220		事業所数
c221	金融・保険業	従業者総数
c222		従業者男
c223		事業所数
c224	銀行	従業者総数
c225		従業者男
c226		事業所数
c227	中小企業金融機関	従業者総数
c228		従業者男
c229		事業所数
c230	不動産業	従業者総数
c231		従業者男
c232		事業所数
c233	不動産取引業	従業者総数
c234		従業者男
c235		事業所数
c236	不動産賃貸業・管理業	従業者総数
c237		従業者男

5-3 <Jservice1996>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c238	サービス業
c239	事業所数
c240	従業者総数
c241	従業者男
c242	事業所数
c243	従業者総数
c244	従業者男
c245	事業所数
c246	従業者総数
c247	従業者男
c248	事業所数
c249	従業者総数
c250	従業者男
c251	事業所数
c252	従業者総数
c253	従業者男
c254	事業所数
c255	従業者総数
c256	従業者男
c257	事業所数
c258	従業者総数
c259	従業者男
c260	事業所数
c261	従業者総数
c262	従業者男
c263	事業所数
c264	従業者男
c265	事業所数
c266	従業者総数
c267	従業者男
c268	事業所数
c269	従業者総数
c270	従業者男
c271	事業所数
c272	従業者総数
c273	従業者男
c274	事業所数
c275	従業者総数
c276	従業者男
c277	事業所数
c278	従業者総数
c279	従業者男
c280	事業所数
c281	従業者総数
c282	従業者男
c283	事業所数
c284	従業者総数
c285	従業者男
c286	事業所数
c287	従業者総数
c288	従業者男
c289	事業所数
c290	従業者総数
c291	従業者男
c292	事業所数
c293	従業者総数
c294	従業者男
c295	事業所数
c296	従業者総数
c297	従業者男
c298	事業所数
c299	従業者総数
c300	従業者男
c301	事業所数
c302	従業者総数
c303	従業者男
産業別事業所数及び従業者数	

～次頁に続く～

5-3 <Jservice1996～続～>

フィールド名稱	フィールド説明
c304	自動車整備業
c305	事業所数
c306	従業者総数
c307	従業者男
c308	機械・家具等修理業(別掲を除く)
c309	事業所数
c310	従業者総数
c311	従業者男
c312	物品質貸業
c313	事業所数
c314	従業者総数
c315	従業者男
c316	機械用機械器具質貸業
c317	事業所数
c318	従業者総数
c319	従業者男
c320	事務用機械器具質貸業
c321	事業所数
c322	従業者総数
c323	従業者男
c324	自動車質貸業
c325	事業所数
c326	従業者総数
c327	従業者男
c328	スポーツ・娯楽用品質貸業
c329	事業所数
c330	従業者総数
c331	従業者男
c332	その他の物品質貸業
c333	事業所数
c334	従業者総数
c335	従業者男
c336	映画・ビデオ制作業
c337	事業所数
c338	従業者総数
c339	従業者男
c340	放送業
c341	事業所数
c342	従業者総数
c343	従業者男
c344	情報サービス・調査業
c345	事業所数
c346	従業者総数
c347	従業者男
c348	広告業
c349	事業所数
c350	従業者総数
c351	従業者男
c352	専門サービス業(他に分類されないもの)
c353	事業所数
c354	従業者総数
c355	従業者男
c356	学習塾(各種学校でないもの)
c357	事業所数
c358	従業者総数
c359	従業者男
c360	フィットネスクラブ
c361	事業所数
c362	従業者総数
c363	従業者男
c364	音楽個人教授所
c365	事業所数
c366	従業者総数
c367	従業者男
c368	共同組合(他に分類されないもの)
c369	事業所数
	従業者総数
	従業者男
	その他のサービス業
	事業所数
	従業者総数
	従業者男
	民営職業紹介業
	事業所数
	従業者総数
	従業者男
産業別事業所数及び従業者数	

5-3 <Jsecind1996>

フィールド名	標準地域メッシュコード	フィールド説明
meshcode		
c007		事業所数
c008		従業者総数
c009		従業者男
c010		事業所数
c011		従業者総数
c012		従業者男
c013		事業所数
c014		従業者総数
c015		従業者男
c016		事業所数
c017		従業者総数
c018		従業者男
c019		事業所数
c020		従業者総数
c021		従業者男
c022		事業所数
c023		従業者総数
c024		従業者男
c025		事業所数
c026		従業者総数
c027		従業者男
c028		事業所数
c029		従業者総数
c030		従業者男
c031		事業所数
c032		従業者総数
c033		従業者男
c034		事業所数
c035		従業者総数
c036		従業者男
c037		事業所数
c038		従業者総数
c039		従業者男
c040		事業所数
c041		従業者総数
c042	産業別事業所数及び従業者数	従業者男
c043		事業所数
c044		従業者総数
c045		従業者男
c046		事業所数
c047		従業者総数
c048		従業者男
c049		事業所数
c050		従業者総数
c051		従業者男
c052		事業所数
c053		従業者総数
c054		従業者男
c055		事業所数
c056		従業者総数
c057		従業者男
c058		事業所数
c059		従業者総数
c060		従業者男
c061		事業所数
c062		従業者総数
c063		従業者男
c064		事業所数
c065		従業者総数
c066		従業者男
c067		事業所数
c068		従業者総数
c069		従業者男
c070		事業所数
c071		従業者総数
c072		従業者男
c073		事業所数
c074		従業者総数
c075		従業者男
c076		事業所数
c077		従業者総数
c078		従業者男

～次頁に続く～

5-3 <Jsccind1996～続～>

フィールド名	フィールド説明	
c079	電気機械器具製造業	事業所数
c080		従業者総数
c081		従業者男
c082	輸送用機械器具製造業	事業所数
c083		従業者総数
c084		従業者男
c085	精密機械器具製造業	事業所数
c086		従業者総数
c087		従業者男
c088	武器製造業	事業所数
c089		従業者総数
c090		従業者男
c091	その他の製造業	事業所数
c092		従業者総数
c093		従業者男

5-3 <Jscale1996>

フィールド名	フィールド説明	
meshcode	標準地域メッシュコード	
c463	1～4人	事業所数
c464		従業者総数
c465		従業者男
c466	5～9人	事業所数
c467		従業者総数
c468		従業者男
c469	10～19人	事業所数
c470		従業者総数
c471		従業者男
c472	20～29人	事業所数
c473		従業者総数
c474		従業者男
c475	30～49人	事業所数
c476		従業者総数
c477		従業者男
c478	50～99人	事業所数
c479		従業者総数
c480		従業者男
c481	100～299人	事業所数
c482		従業者総数
c483		従業者男
c484	300人以上	事業所数
c485		従業者総数
c486		従業者男
c487	(100人以上)	事業所数
c488		従業者総数
c489		従業者男
c490	20人未満	事業所数
c491		従業者総数
c492		従業者男
c493	20人以上	事業所数
c494		従業者総数
c495		従業者男

～次頁に続～

5-3 <Jscale1996～続1～>

フィールド名	フィールド説明	
c496	鉱業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c497		
c498		
c499	鉱業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c500		
c501		
c502	建設業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c503		
c504		
c505	建設業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c506		
c507		
c508	製造業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c509		
c510		
c511	製造業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c512		
c513		
c514	電気・ガス・熱供給・水道業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c515		
c516	電気・ガス・熱供給・水道業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c517		
c518		
c519		
c520	運輸・通信業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c521		
c522	運輸・通信業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c523		
c524		
c525		
c526	卸売・小売業、飲食店 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c527		
c528	卸売・小売業、飲食店 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c529		
c530		
c531	金融・保険業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c532		
c533	金融・保険業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c534		
c535		
c536	不動産業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c537		
c538	不動産業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c539		
c540		
c541	サービス業 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c542		
c543	サービス業 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c544		
c545		
c546	公務 20人未満	事業所数 従業者総数 従業者男
c547		
c548	公務 20人以上	事業所数 従業者総数 従業者男
c549		
c550		
c551	製造業 1～4人	事業所数 従業者総数 従業者男
c552		
c553		
c554		
c555	製造業 5～9人	事業所数 従業者総数 従業者男
c556		
c557		
c558		
c559		
c560		
c561		

～次頁に続く～

5-3 <Jscale1996～続2～>

フィールド名	フィールド説明
c562	事業所数
c563	従業者総数
c564	従業者男
c565	事業所数
c566	従業者総数
c567	従業者男
c568	事業所数
c569	従業者総数
c570	従業者男
c571	事業所数
c572	従業者総数
c573	従業者男
c574	事業所数
c575	従業者総数
c576	従業者男
c577	事業所数
c578	従業者総数
c579	従業者男
c580	事業所数
c581	従業者総数
c582	従業者男
c583	事業所数
c584	従業者総数
c585	従業者男
c586	事業所数
c587	従業者総数
c588	従業者男
c589	事業所数
c590	従業者総数
c591	従業者男
c592	事業所数
c593	従業者総数
c594	従業者男
c595	事業所数
c596	従業者総数
c597	従業者男
c598	事業所数
c599	従業者総数
c600	従業者男
c601	事業所数
c602	従業者総数
c603	従業者男
c604	事業所数
c605	従業者総数
c606	従業者男
c607	事業所数
c608	従業者総数
c609	従業者男
c610	事業所数
c611	従業者総数
c612	従業者男
c613	事業所数
c614	従業者総数
c615	従業者男
c616	事業所数
c617	従業者総数
c618	従業者男
c619	事業所数
c620	従業者総数
c621	従業者男
c622	事業所数
c623	従業者総数
c624	従業者男
c625	事業所数
c626	従業者総数
c627	従業者男
c628	事業所数
c629	従業者総数
c630	従業者男
c631	事業所数
c632	従業者総数
c633	従業者男
c634	事業所数
c635	従業者総数
c636	従業者男
c637	事業所数
c638	従業者総数
c639	従業者男

産業・従業者規模別事業所数及び従業者数

5-3 <Jpublic1996>

コード名	標準地域メッシュコード	フィールド説明
meshcode		
c370		事業所数
c371		従業者総数
c372		従業者男
c373		事業所数
c374		従業者総数
c375		従業者男
c376		事業所数
c377		従業者総数
c378		従業者男
c379		事業所数
c380		従業者総数
c381		従業者男
c382		事業所数
c383		従業者総数
c384		従業者男
c385		事業所数
c386		従業者総数
c387		従業者男
c388		事業所数
c389		従業者総数
c390		従業者男
c391		事業所数
c392		従業者総数
c393		従業者男
c394		事業所数
c395		従業者総数
c396		従業者男
c397		事業所数
c398		従業者総数
c399		従業者男
c400		事業所数
c401		従業者総数
c402		従業者男
c403		事業所数
c404		従業者総数
c405		従業者男
c406		事業所数
c407		従業者総数
c408		従業者男
c409		事業所数
c410		従業者総数
c411		従業者男
c412		事業所数
c413		従業者総数
c414		従業者男
c415		事業所数
c416		従業者総数
c417		従業者男
c418		事業所数
c419		従業者総数
c420		従業者男
c421		事業所数
c422		従業者総数
c423		従業者男
c424		事業所数
c425		従業者総数
c426		従業者男
c427		事業所数
c428		従業者総数
c429		従業者男
c430		事業所数
c431		従業者総数
c432		従業者男
c433		事業所数
c434		従業者総数
c435		従業者男
c436		事業所数
c437		従業者総数
c438		従業者男

～次頁に続く～

5-3 <Jpublic1996～統～>

フィールド名稱	フィールド説明
c439	事業所数
c440	従業者総数
c441	従業者男
c442	事業所数
c443	従業者総数
c444	従業者男
c445	事業所数
c446	従業者総数
c447	従業者男
c448	事業所数
c449	従業者総数
c450	従業者男
c451	事業所数
c452	従業者総数
c453	従業者男
c454	事業所数
c455	従業者総数
c456	従業者男
c457	事業所数
c458	従業者総数
c459	従業者男
c460	事業所数
c461	従業者総数
c462	従業者男

5-3 <Jindex1996>

フィールド名稱	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c809	平成8年事業所総数
c810	平成3年～平成8年事業所総数
c811	事業所増減数
c812	平成8年事業所総数
c813	平成3年事業所総数
c814	事業所増減数

5-3 <Jorg1996>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c640	民営
c641	事業所数
c642	従業者総数
c643	従業者男
c644	個人経営
c645	事業所数
c646	従業者総数
c647	従業者男
c648	法人経営
c649	事業所数
c650	従業者総数
c651	従業者男
c652	会社組織
c653	事業所数
c654	従業者総数
c655	従業者男
c656	国・地方公共団体
c657	事業所数
c658	従業者総数
c659	従業者男
c660	国
c661	事業所数
c662	従業者総数
c663	従業者男
c664	事業所数
c665	従業者総数
c666	従業者男
c667	事務所・営業所
c668	事業所数
c669	従業者総数
c670	従業者男
c671	工場・作業所・鉱業所
c672	事業所数
c673	従業者総数
c674	輸送センター・配送センター・車庫
c675	従業者男
c676	事業所数
c677	従業者総数
c678	従業者男
c679	自家用倉庫・自家用油槽所
c680	事業所数
c681	従業者総数
c682	従業者男
c683	外見上一般の住居と区別しにくい事業所
c684	事業所数
c685	従業者総数
c686	従業者男
c687	昭和29年以前開設
c688	事業所数
c689	従業者総数
c690	従業者男
c691	昭和30～39年開設
c692	事業所数
c693	従業者総数
c694	従業者男
c695	昭和40～49年開設
c696	事業所数
c697	従業者総数
c698	従業者男
c699	昭和50～59年開設
c700	事業所数
c701	従業者総数
c702	従業者男
c703	平成2年～平成6年開設
c704	事業所数
c705	従業者総数
	従業者男
	開設時期別事業所数及び従業者数

5-3 < Jinfr1996 >

フィールド名稱		フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード	
c097		事業所数
c098		従業者総数
c099		従業者男
c100		事業所数
c101		従業者総数
c102		従業者男
c103		事業所数
c104		従業者総数
c105		従業者男
c106		事業所数
c107		従業者総数
c108		従業者男
c109		事業所数
c110		従業者総数
c111		従業者男
c112		事業所数
c113		従業者総数
c114		従業者男
c115		事業所数
c116		従業者総数
c117		従業者男
c118		事業所数
c119		従業者総数
c120		従業者男
c121		事業所数
c122	産業別事業所数及び従業者数	従業者総数
c123		従業者男
c124		事業所数
c125		従業者総数
c126		従業者男
c127		事業所数
c128		従業者総数
c129		従業者男
c130		事業所数
c131		従業者総数
c132		従業者男
c133		事業所数
c134		従業者総数
c135		従業者男
c136		事業所数
c137		従業者総数
c138		従業者男
c139		事業所数
c140		従業者総数
c141		従業者男
c142		事業所数
c143		従業者総数
c144		従業者男
c145		事業所数
c146		従業者総数
c147		従業者男

5-3 <Jcompany1996>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
c706	全企業産業企業数
c707	鉱業企業数
c708	建設業企業数
c709	製造業企業数
c710	電気・ガス・熱供給・水道業企業数
c711	運輸・通信業企業数
c712	卸売・小売業・飲食店企業数
c713	金融・保険業企業数
c714	不動産業企業数
c715	サービス業企業数
c716	株式会社企業数
c717	有限会社企業数
c718	合名・合資相互会社企業数
c719	株式会社企業数
c720	有限会社企業数
c721	合名・合資相互会社企業数
c722	株式会社企業数
c723	有限会社企業数
c724	合名・合資相互会社企業数
c725	0~4人企業数
c726	5~9人企業数
c727	10~19人企業数
c728	20~29人企業数
c729	30~49人企業数
c730	50~99人企業数
c731	100~299人企業数
c732	300~999人企業数
c733	1,000~1,999人企業数
c734	2,000~4,999人企業数
c735	5,000人以上企業数
c736	(300人以上)企業数
c737	0~4人企業数
c738	5~9人企業数
c739	10~19人企業数
c740	20~29人企業数
c741	30~49人企業数
c742	50~99人企業数
c743	100~299人企業数
c744	300~999人企業数
c745	1,000~1,999人企業数
c746	2,000~4,999人企業数
c747	5,000人以上企業数
c748	(300人以上)企業数
c749	0~4人企業数
c750	5~9人企業数
c751	10~19人企業数
c752	20~29人企業数
c753	30~49人企業数
c754	50~99人企業数
c755	100~299人企業数
c756	300~999人企業数
c757	1,000~1,999人企業数
c758	2,000~4,999人企業数
c759	5,000人以上企業数
c760	(300人以上)企業数
c761	0~4人企業数
c762	5~9人企業数
c763	10~19人企業数
c764	20~29人企業数
c765	30~49人企業数
c766	50~99人企業数
c767	100~299人企業数
c768	300~999人企業数
c769	1,000~1,999人企業数
c770	2,000~4,999人企業数
c771	5,000人以上企業数
c772	(300人以上)企業数

～次頁に続く～

5-3 <Jcompany1996～続～>

フィールド名	フィールド説明
c773	～300万円未満企業数
c774	300～500万円未満企業数
c775	500～1,000万円未満企業数
c776	1,000～3,000万円未満企業数
c777	3,000～5,000万円未満企業数
c778	5,000～1億円未満企業数
c779	1～10億円未満企業数
c780	10～50億円未満企業数
c781	50億円以上企業数
c782	～300万円未満企業数
c783	300～500万円未満企業数
c784	500～1,000万円未満企業数
c785	1,000～3,000万円未満企業数
c786	3,000～5,000万円未満企業数
c787	5,000～1億円未満企業数
c788	1～10億円未満企業数
c789	10～50億円未満企業数
c790	50億円以上企業数
c791	～300万円未満企業数
c792	300～500万円未満企業数
c793	500～1,000万円未満企業数
c794	1,000～3,000万円未満企業数
c795	3,000～5,000万円未満企業数
c796	5,000～1億円未満企業数
c797	1～10億円未満企業数
c798	10～50億円未満企業数
c799	50億円以上企業数
c800	～300万円未満企業数
c801	300～500万円未満企業数
c802	500～1,000万円未満企業数
c803	1,000～3,000万円未満企業数
c804	3,000～5,000万円未満企業数
c805	5,000～1億円未満企業数
c806	1～10億円未満企業数
c807	10～50億円未満企業数
c808	50億円以上企業数

## 5-4 国土数値情報土地利用 TBL 群

<テーブル構成>

テーブル名	テーブル説明	主キー
landuseK1976	1976年度国土数値情報土地利用	meshcode
landuseK1987	1987年度国土数値情報土地利用	meshcode
landuseK1991	1991年度国土数値情報土地利用	meshcode

5-4 <landuseK1976>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
marea	標準地域メッシュ面積
rice	田
farm	畑
fruit	果樹園
tree	その他の樹木畠
forest	森林
waste	荒地
buildingA	建物用地A
buildingB	建物用地B
traffic	幹線交通用地
other	その他の用地
lake	湖沼
riverA	河川地A
riverB	河川地B
seaside	海浜
unknown	不明
total	合計

5-4 <landuseK1991>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
marea	標準地域メッシュ面積
rice	田
field	その他の農用地
forest	森林
waste	荒地
building	建物用地
traffic	幹線交通用地
other	その他の用地
river	河川地及び湖沼
seaside	海浜
sea	海水域
golf	ゴルフ場
total	合計

5-4 <landuseK1987>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
marea	標準地域メッシュ面積
rice	田
farm	畑
fruit	果樹園
tree	その他の樹木畠
forest	森林
waste	荒地
building	建物用地
traffic	幹線交通用地
other	その他の用地
river	内水地
seaside	海浜
sea	海水域
total	合計

## 5-5 細密数値情報土地利用 TBL 群

<テーブル構成>

テーブル名	テーブル説明	主キー	
landuseS1974	1974年度細密数値情報土地利用	meshcode	他のテーブル
landuseS1979	1979年度細密数値情報土地利用	meshcode	他のテーブル
landuseS1984	1984年度細密数値情報土地利用	meshcode	他のテーブル
landuseS1989	1989年度細密数値情報土地利用	meshcode	他のテーブル
landuseS1994	1994年度細密数値情報土地利用	meshcode	他のテーブル

5-5 <landuseS1974・landuseS1979・landuseS1984・landuseS1989・landuseS1994 共通>

フィールド名	フィールド説明	
meshcode	標準地域メッシュコード	
c00	対象地域外1	細密数値情報が存在しない地域
c01	山林・農地等	山林・荒地等
c02	農地	田
c03	畑・その他の農地	普通畠、果樹園、桑園、茶園、その他の樹園、苗木畠、牧場、牧草地、採草放牧地、畜舎、温室等の畠及びその他の農地をいう。
c04	造成地	造成中地
c05	空地	人工的に土地の整理が行われ、現在はまだ利用されていない土地及び簡単な施設からなる屋外駐車場、ゴルフ練習場、テニスコート、資材置場等を含める。
c06	宅地	工業用地
c07	住宅地	一般低層住宅地
c08	密集低層住宅地	3階以下の住宅用建物からなり、1区画あたり100平方メートル未満の敷地により構成されている住宅地をいう。
c09	中高層住宅地	4階建以上の中高層住宅の敷地からなる住宅地をいう。
c10	商業・業務用地	小売店舗、スーパー、デパート、卸売、飲食店、映画館、劇場、旅館、ホテル等の商店、娯楽、宿泊等のサービス業を含む用地及び銀行、証券、保険、商社等の企業の事務所、新聞社、流通施設、その他これに類する用地をいう。
c11	公共公益施設用地	道路用地
c12	土地利用面積	公園、動植物園、墓地、寺社の境内地、遊園地等の公共的性格を有する施設及び総合運動場、競技場、野球場等の運動競技を行うための施設用地をいう。
c13	その他の公共公益施設用地	公共業務地区(国、地方自治体等の庁舎からなる地区)、教育文化施設(学校、研究所、図書館、美術館等からなる地区)、供給処理施設(浄水場、下水処理場、焼却場、変電所からなる施設地区)、社会福祉施設(病院、療養所、老人ホーム、保育所等からなる施設地区)、鉄道用地(鉄道、車両基地を含む)、バス発着センター、車庫、港湾施設用地、空港等の用地をいう。
c14	河川・湖沼等	河川(河川敷、堤防を含む)、湖沼、溜池、養魚場、海浜地等をいう。
c15	その他	防衛施設、米軍施設、基地跡地、演習場、皇室に關係する施設及び居住地等をいう。
c16	海	海面をいう。
c17	対象地域外2	細密数値情報は存在するが調査対象からは外れる地域
c18	(ダミーコード)	(1979年(第2時期)データ作成時に對し1984年(第3時期)データ作成時に對象地域が拡大されたことに伴い、1974年(第1時期)データ及び1979年(第2時期)データにおける拡大部分に土地利用データが無いため、便宜上入れたコード)
c19	(ダミーコード)	(1974年(第1時期)データ作成時に對し1979年(第2時期)データ作成時に對象地域が拡大されたことに伴い、1974年(第1時期)データにおける拡大部分に土地利用データが無いため、便宜上入れたコード)
total	合計	

\*網掛け部分の説明は、細密数値情報のユーザマニュアル (README.HTML) から引用

## 5-6 時間帯・距離帯 TBL

### <テーブル構成>

テーブル名	テーブル説明	主キー
accessibility	都心までの時間距離・直線距離	meshcode

←他のテーブル

### 5-6 <accessibility>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
avgminky	最寄駅から山手線までの所要時間平均(分)
avgminst	最寄駅までの所要時間平均(分)
avgmintl	山手線までの全所要時間(avgminky+avgminst)
avgdist	東京駅までの直線距離平均(km)

## 5-7 土地利用規制区域 TBL

<テーブル構成>

テーブル名称	テーブル説明	主キー
landusereg	土地利用規制区域	meshcode

←他のテーブル

5-7 <landusereg>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	標準地域メッシュコード
lur01	地域森林計画区域
lur02	保安林区域
lur03	宅地造成工事規制区域
lur04	風致地区
lur05	農業振興地域
lur06	農用地区域
lur07	防火地域 規制が適用される面積比率
lur08	準防火地域
lur09	首都圏近郊緑地保全区域
lur10	首都圏近郊緑地特別保全区域
lur11	歴史的風土保存地区
lur12	歴史的風土特別保存地区
lur13	緑地保全地区

## 5-8 用途地域・容積率 TBL

<テーブル構成>

テーブル名称	テーブル説明	主キー
landapa	用途地域・容積率	meshcode

←他のテーブル

5-8 <landapa>

フィールド名称	フィールド説明		
meshcode	標準地域メッシュコード		
avgcapa	容積率平均		
lus10	用途が適用される面積比率	市街化区域	用途地域指定無し
lus11			第1種住居専用地域
lus12			第2種住居専用地域
lus13			住居地域
lus14			近隣商業地域
lus15			商業地域
lus16			準工業地域
lus17			工業地域
lus18			工業専用地域
lus20		市街化調整区域	用途地域指定無し
lus21			第1種住居専用地域
lus22			第2種住居専用地域
lus23			住居地域
lus24			近隣商業地域
lus25			商業地域
lus26			準工業地域
lus27			工業地域
lus28			工業専用地域
lus30		都市計画区域外	用途地域指定無し

## 5-9 土地利用基本計画 TBL

<テーブル構成>

テーブル名	テーブル説明	主キー
landplan	土地利用基本計画	meshcode

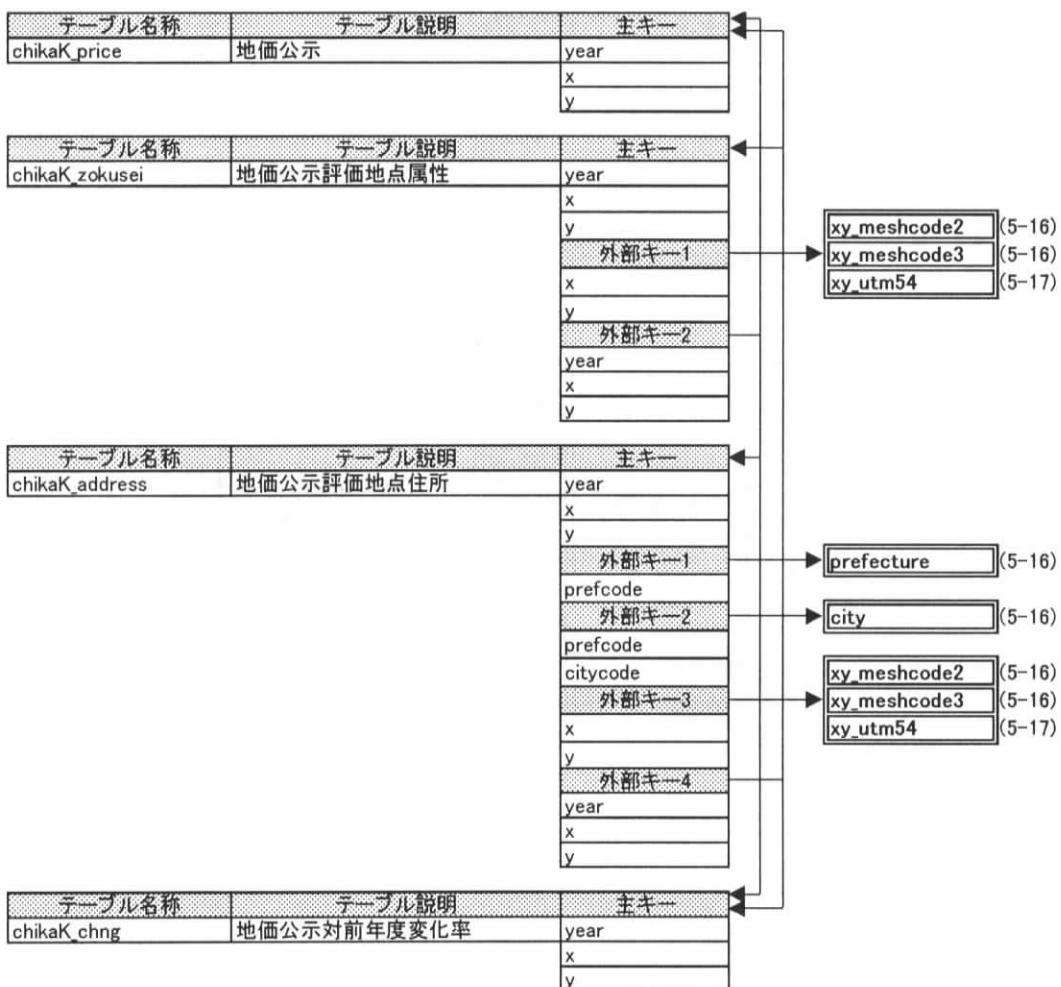
←他のテーブル

5-9 <landplan>

フィールド名	フィールド説明	
meshcode	標準地域メッシュコード	
lup10	都市計画区域	指定無し
lup11		都市計画区域(lup12・lup13・lup14以外)
lup12		用途地域(lup13・lup14以外)
lup13		市街化区域
lup14		市街化調整区域
lup20	自然公園	指定無し
lup21		普通地区
lup22		特別地区(lup23以外)
lup23		特別保護地
lup24		海中公園
lup30	自然環境保全地域	指定無し
lup31		原生自然環境保全地域(lup32以外)
lup32		立入制限地区
lup33		普通地区
lup34		特別地区(lup35以外)
lup35		野生動植物保護区
lup36		海中特別地区
lup40	農業地域	指定無し
lup41		指定あり
lup50		森林地域
lup51		指定無し

## 5-10 地価公示 TBL 群

### <テーブル構成>



### <特記事項>

- 1) 地価公示評価地点の属性データは、1995 年以降のみで利用可能であるため、地価公示とは別のテーブルとした。
- 2) 地価公示評価地点の住所は、同じ地点であっても表示変更や市町村合併などにより変化するため、年度フィールドを持つテーブルとした。
- 3) 地価公示対前年度変化率データは、1995 年以降のみで利用可能である。

### 5-10 <chikaK\_price>

フィールド名称	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
price	地価

### 5-10 <chikaK\_chng>

フィールド名称	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
price	対前年度変化率

### 5-10 <chikaK\_address>

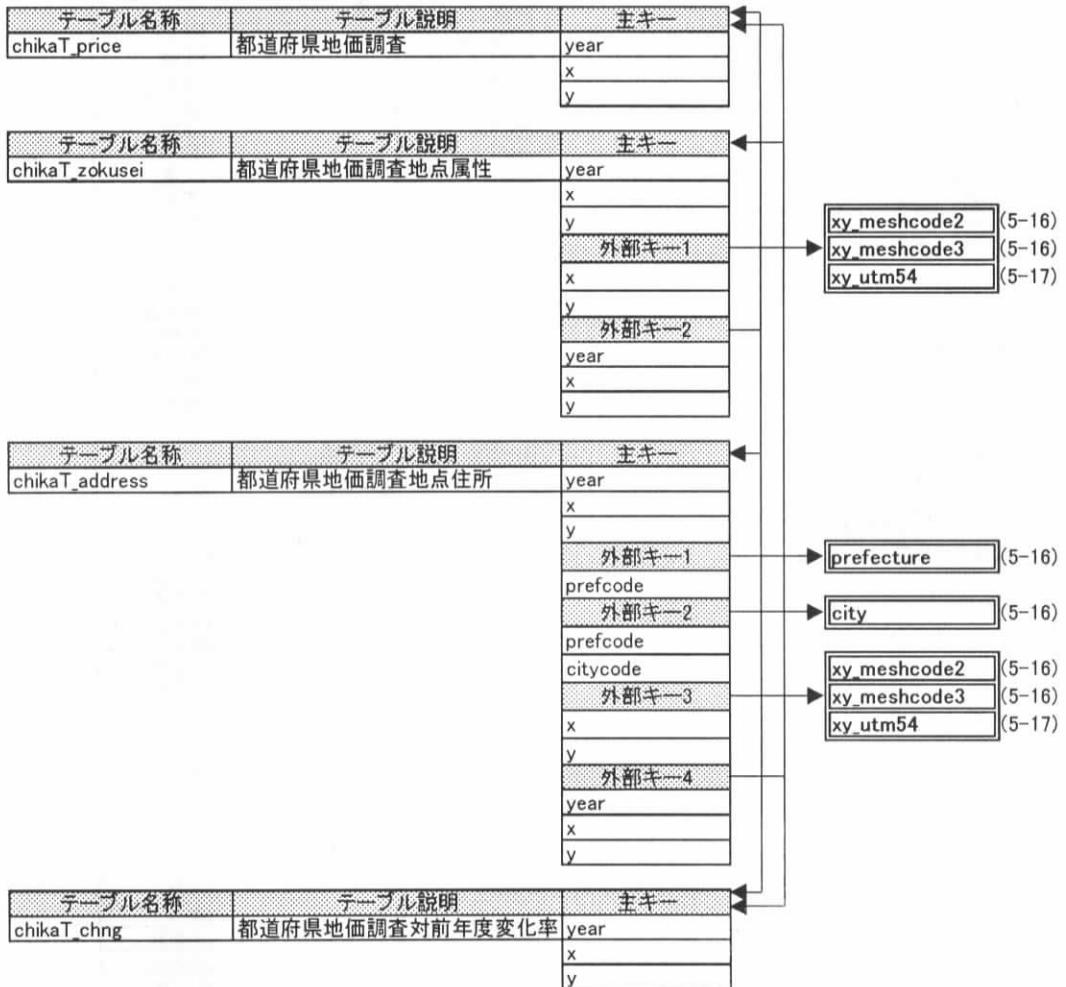
フィールド名称	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
pointname	標準地市区町村名称
address	標準地住所

### 5-10 <chikaK\_zokusei>

フィールド名称	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
area	地積
use1	住宅
use2	店舗
use3	事務所
use4	銀行
use5	旅館
use6	給油所
use7	工場
use8	倉庫
use9	農地
use10	山林
use11	医院
use12	空地
use13	作業場
use14	原野
use15	その他
use16	用材
use17	雑木
usedesc	利用状況表示
building	建物構造
watersupply	水道
gassupply	ガス
drainage	下水
stationdist	駅からの距離
zone1	1低住
zone2	2低住
zone3	1中住
zone4	2中住
zone5	1住居
zone6	2住居
zone7	準住居
zone8	近商
zone9	商業
zone10	準工
zone11	工業
zone12	工専
zone13	防火
zone14	準防
zone15	調区
zone16	都市
zone17	地森計
zone18	国定公
zone19	1住専
zone20	2住専
zone21	住居
zone22	住専
zone23	高度(種別)
zone24	空地(種別)
zone25	容積(種別)
blratio	建ぺい率
cpratio	容積率

## 5-11 都道府県地価調査 TBL 群

### <テーブル構成>



### <特記事項>

- 1) 地価調査地点の属性データは、1995 年以降のみで利用可能であるため、調査地価とは別のテーブルとした。
- 2) 地価調査地点の住所は、同じ地点であっても表示変更や市町村合併などにより変化するため、年度フィールドを持つテーブルとした。
- 3) 調査地価対前年度変化率データは、1995 年以降のみで利用可能である。

5-11 &lt;chikaT\_price&gt;

フィールド名	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
price	地価

5-11 &lt;chikaT\_chng&gt;

フィールド名	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
price	対前年度変化率

5-11 &lt;chikaT\_address&gt;

フィールド名	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
pointname	基準地市区町村名称
address	基準地住所

5-11 &lt;chikaT\_zokusei&gt;

フィールド名	フィールド説明
year	年度
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
area	地積
use1	住宅
use2	店舗
use3	事務所
use4	銀行
use5	旅館
use6	給油所
use7	工場
use8	倉庫
use9	農地
use10	山林
use11	医院
use12	空地
use13	作業場
use14	原野
use15	その他
use16	用材
use17	雑木
usedesc	利用状況表示
building	建物構造
watersupply	水道
gassupply	ガス
drainage	下水
stationdist	駅からの距離
zone1	1低住
zone2	2低住
zone3	1中住
zone4	2中住
zone5	1住居
zone6	2住居
zone7	準住居
zone8	近商
zone9	商業
zone10	準工
zone11	工業
zone12	工専
zone13	防火
zone14	準防
zone15	調区
zone16	都市
zone17	地森計
zone18	国定公
zone19	1住専
zone20	2住専
zone21	住居
zone22	住専
zone23	高度(種別)
zone24	空地(種別)
zone25	容積(種別)
blratio	建ぺい率
cpratio	容積率

## 5-12 公共施設 TBL 群

<テーブル構成>



### 5-12 <site\_pub>

フィールド名	フィールド説明
sitecode	施設コード
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
mngrcode	管理者コード
kindcode1	種別コード大分類
kindcode2	種別コード中分類
kindcode3	種別コード小分類
sitename	施設名称
address	施設住所
ivstyear	調査年次
openyear	解説年次

### 5-12 <site\_pub\_mngr>

フィールド名	フィールド説明
mngrcode	管理者コード
mngname	管理者名称

### 5-12 <site\_pub\_kind1>

フィールド名	フィールド説明
kindcode1	種別コード大分類
kindname1	種別名称大分類

### 5-12 <site\_pub\_kind2>

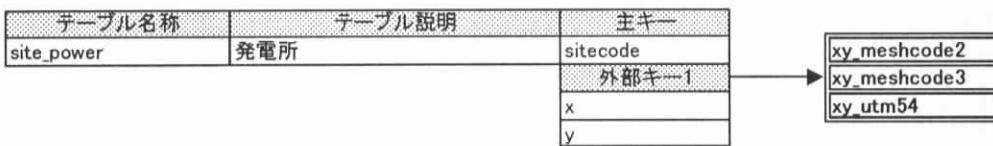
フィールド名	フィールド説明
kindcode1	種別コード大分類
kindcode2	種別コード中分類
kindname2	種別名称中分類

### 5-12 <site\_pub\_kind3>

フィールド名	フィールド説明
kindcode1	種別コード大分類
kindcode2	種別コード中分類
kindcode3	種別コード小分類
kindname3	種別名称小分類

## 5-13 発電所 TBL

<テーブル構成>

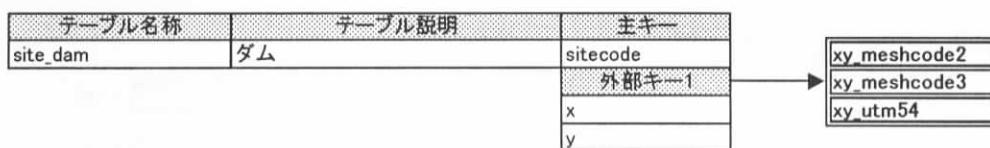


5-13 <site\_power>

フィールド名	フィールド説明		
sitecode	施設コード		
x	経度(ミリ秒)		
y	緯度(ミリ秒)		
kindcode	原動力コード(混合揚水式火力:1 純揚水式水力:2 石炭火力:3 LNG火力:4 天然ガス火力:5 地熱:6 石油火力:7)		
mngrname	事業者(設置者)名		
stename	発電所名		
address	所在地		
statuscode	工事中コード(既設:1 工事中:2 着工準備中:3 転換工事中:4)		
oepndate	運転開始年月日		
powerlevel	許可出力 単位[0.01MW](水力発電では最大出力)		
water_zone	水力発電	水系名	
water_maxquant		最大使用水量 単位[0.01m/s]	
water_maxfall		最大有効落差 単位[0.01m]	
water_pond1_name		貯水池・調整池	名称
water_pond1_capa		上池	容量 単位[千m3] (有効容量)
water_pond1_depth			水深 単位[0.01m] (利用水深)
water_pond2_name		下池	名称
water_pond2_capa			容量 単位[千m3] (有効容量)
water_pond2_depth			水深 単位[0.01m] (利用水深)
water_wheel_capa		水車	容量 単位[kw] 型式(縦軸(V):1 横軸(H):2 斜流型(D):3 フランシス型(F):4 ポンプ水車(R):5) 台数
water_wheel_type			
water_wheel_num			
thermal_chng_date	火力発電	転換年月日	
thermal_fuel_type		専・混燃の別	専燃:1 混燃:2 専混燃:3
thermal_fuel01		石炭	混燃に含まない:0 混燃に含む:1
thermal_fuel02		石炭(CWM)	混燃に含まない:0 混燃に含む:2
thermal_fuel03		原油	混燃に含まない:0 混燃に含む:3
thermal_fuel04		重油	混燃に含まない:0 混燃に含む:4
thermal_fuel05		LNG	混燃に含まない:0 混燃に含む:5
thermal_fuel06		LPG	混燃に含まない:0 混燃に含む:6
thermal_fuel07		天然ガス	混燃に含まない:0 混燃に含む:7
thermal_fuel08		ナフサ	混燃に含まない:0 混燃に含む:8
thermal_fuel09		COM	混燃に含まない:0 混燃に含む:9
thermal_fuel10		COG	混燃に含まない:0 混燃に含む:10
thermal_fuel11		BFG	混燃に含まない:0 混燃に含む:11
geothermal_busi	地熱	事業用	事業用:1 自家用:2
geothermal_sect		蒸気供給部門	
nuclear_type		炉型(GCR:1 BWR:2 PWR:3 ABWR:4 ATR:5 FBR:6)	
nuclear_deli_date		審議会決定年月	
nuclear_prmt_date	原子力	設置許可年月日	
nuclear_cnst_date		工事許可年月	

## 5-14 ダム TBL

<テーブル構成>

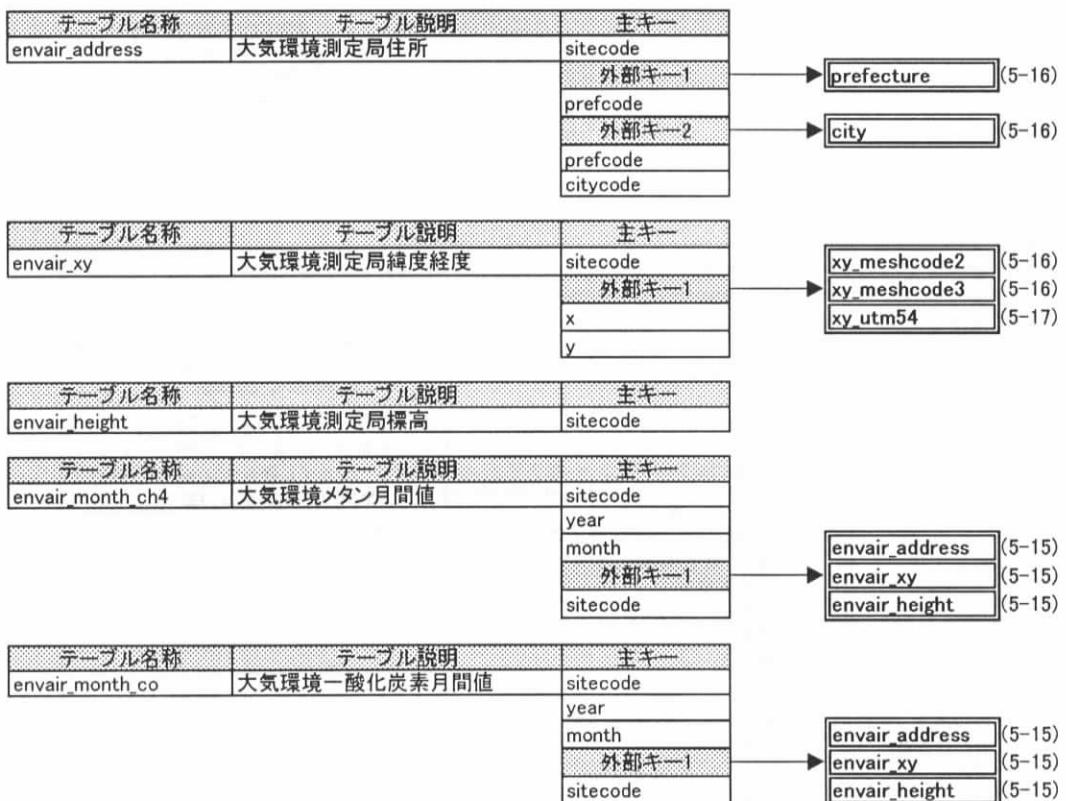


5-14 <site\_dam>

フィールド名	フィールド説明	
sitecode	施設コード	
x	経度(ミリ秒)	
y	緯度(ミリ秒)	
zonecode	水系域コード	
rivercode	河川コード	コードがないなら「000」
damcode	ダムコード	
type	型式	アーチダム:1、バットレスダム:2、アースダム:3、アスファルトフェイシングダム:4、アスファルトコアダム:5、フローティングゲートダム(可動堰):6、重力式コンクリートダム:7、重力式アーチダム:8、重力式コンクリートダム・フィルダム複合ダム:9、中空重力式コンクリートダム:10、マルティブルアーチダム:11、ロックフィルダム:12
use1	目的	F 洪水調節、農地防災
use2		N 不特定用水、河川維持用水
use3		A 灌漑、特定(新規)灌漑用水
use4		W 上水道用水
use5		I 工業用水道用水
use6		P 発電
size1	ダム規模	堤高 単位[0.1m]
size2		堤頂長 単位[0.1m]
size3		堤体積 単位[1000m³]
max_water	総貯水量	単位[1000m³]
eff_water	有効貯水量	単位[1000m³]
kindcode	種類	1~4 不明のときは「0」
mngrcode	事業者コード	北開庁農水部:1、北開庁建設部:2、沖開庁農水部:3、沖開庁建設部:4、農水省:5、建設省:5、建設省:6、都道府県:7、市区町村:8、水資源開発公団:9、その他の公共企業体:10、土地改良区:11、利水組合・用水組合:12、電力会社・電源開発(株):13、その他の企業:14、個人:15、その他:16
compyear	竣工年(西暦)	
compcode	竣工推定コード	竣工年が推定のときは:1、その他:0
address	所在地	
damname	ダム名	
pondname	貯水池名	

## 5-15 大気環境月間値・年間値 TBL 群

<テーブル構成>

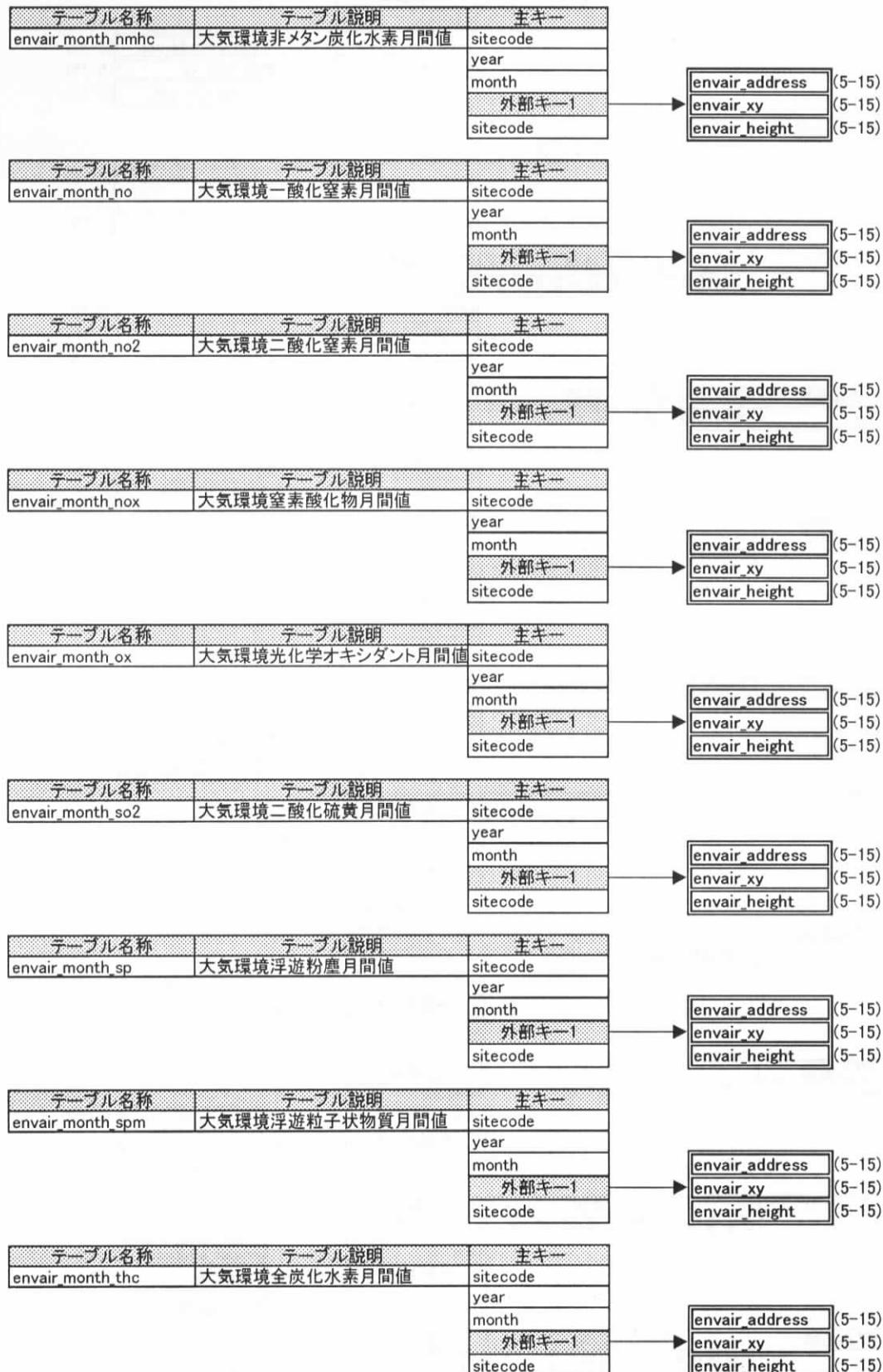


～次頁に続く～

<特記事項>

- 1) 位置情報（緯度経度）が欠損した測定局があるため、テーブルに格納されている測定局の数は、envair\_xy < envair\_address となる。
- 2) 標高情報が欠損した測定局もある。
- 3) 月間値および年間値の各テーブルにおいて、欠損値は NULL (データが入っていない) となっている。

<テーブル構成～続1～>



～次頁に続く～

<テーブル構成～続2～>



### 5-15 <envair\_address>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
sitename	測定局名称
address	測定局住所
opendate	設置年月
closedate	廃止年月
kindcode	測定局種別コード 一般局:1 沿道局:2 車道局:3 混合局:4 気象局:5 その他:9
mngrcode	設置主体コード 都道府県:1 政令市:2 その他の市町村:3 国設:4 企業:5 その他:9

### 5-15 <envair\_xy>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)

### 5-15 <envair\_height>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
height	標高

### 5-15 <envair\_month\_ch4>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c13	6~9時3時間平均値の月平均値
c14	6~9時3時間平均値の月最高値
c15	6~9時3時間平均値の月最低値

測定値単位: ppmhC

### 5-15 <envair\_month\_co>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値
c07	日平均値が10ppmを超えた日数
c08	8時間値が20ppmを超えた回数
c09	1時間値が30ppm以上となったことがある日数
c10	1時間値が50ppm以上となったことがある日数

測定値単位: 0.1 ppm

### 5-15 <envair\_month\_nmhc>

フィールド名	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	6~9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数
c05	6~9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数
c13	6~9時3時間平均値の月平均値
c14	6~9時3時間平均値の月最高値
c15	6~9時3時間平均値の月最低値

測定値単位: ppmhC

### 5-15 <envair\_month\_no>

フィールド名	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_month\_no2>

フィールド名	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値
c07	
c08	1時間値が0.2ppmを越えた時間数
c09	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数
c10	日平均値が0.06ppmを超えた日数
c11	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_month\_nox>

フィールド名	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値
c12	NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )の月平均値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_month\_ox>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	昼間有効測定日数
c02	昼間測定時間
c03	昼間の1時間値の月平均値
c04	昼間の1時間値の最高値
c06	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数
c09	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数
c10	昼間の1時間値が0.12ppm以上の時間数
c11	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数
c16	昼間の日最高1時間値の月平均値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_month\_so2>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値
c06	1時間値が0.1ppmを超えた時間数
c07	日平均値が0.04ppmを超えた日数

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_month\_sp>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値

測定値単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

### 5-15 <envair\_month\_spm>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の最高値
c06	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数
c07	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
c08	1時間値が2.0mg/m <sup>3</sup> 以上の時間が2時間連続した日数
c09	1時間値が3.0mg/m <sup>3</sup> 以上の時間が2時間連続した日数

測定値単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

### 5-15 <envair\_month\_thc>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
month	月
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	月平均値
c04	1時間値の最高値
c13	6~9時3時間平均値の月平均値
c14	6~9時3時間平均値の月最高値
c15	6~9時3時間平均値の月最低値

測定値単位: ppmhC

### 5-15 <envair\_year\_ch4>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c15	測定または換算方式
c17	6~9時3時間平均値の年平均値
c18	6~9時3時間平均値の年最高値
c19	6~9時3時間平均値の年最低値

測定値単位: ppmhC

### 5-15 <envair\_year\_co>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c07	日平均値が10ppmを超えた日数
c08	長期的評価による日平均値が10ppmを超えた日数
c09	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無
c10	8時間値が20ppmを超えた回数
c11	1時間値が30ppm以上となったことがある日数
c12	1時間値が50ppm以上となったことがある日数

測定値単位: 0.1ppm

### 5-15 <envair\_year\_nmhc>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c11	6~9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数
c13	6~9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数
c15	測定または換算方式
c17	6~9時3時間平均値の月平均値
c18	6~9時3時間平均値の月最高値
c19	6~9時3時間平均値の月最低値

測定値単位: ppmhC

### 5-15 <envair\_year\_no>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c06	日平均値の年間98%値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_year\_no2>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c06	日平均値の年間98%値
c07	日平均値が0.2ppmを超えた日数
c08	長期的評価による日平均値が0.2ppmを超えた日数
c09	日平均値が0.2ppmを超えた日が2日以上連続したとの有無
c10	1時間値が0.2ppmを超えた時間数
c11	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数
c12	日平均値が0.06ppmを超えた日数
c13	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数
c14	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_year\_nox>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c06	日平均値の年間98%値
c12	NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )の年平均値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_year\_ox>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	昼間測定日数
c02	昼間測定時間
c03	昼間の1時間値の年平均値
c04	昼間の1時間値の最高値
c06	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数
c11	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数
c12	昼間の1時間値が0.12ppm以上の時間数
c13	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数
c20	昼間の日最高1時間値の年平均値

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_year\_so2>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c06	1時間値が0.1ppmを超えた時間数
c07	日平均値が0.04ppmを超えた日数
c08	長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数
c09	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無

測定値単位: ppb

### 5-15 <envair\_year\_sp>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値

測定値単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

### 5-15 <envair\_year\_spm>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	有効測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c05	日平均値の2%除外値
c06	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数
c07	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
c08	長期的評価による日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
c09	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無
c15	測定方法

測定値単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

### 5-15 <envair\_year\_thc>

フィールド名称	フィールド説明
sitecode	測定局コード
year	年
c01	6~9時測定日数
c02	測定時間
c03	年平均値
c04	1時間値の最高値
c15	測定または換算方式
c17	6~9時3時間平均値の年平均値
c18	6~9時3時間平均値の年最高値
c19	6~9時3時間平均値の年最低値

測定値単位: ppmhC

## 5-16 地点・メッシュ統合 TBL 群

<テーブル構成>



5-16 <prefecture>

フィールド名	フィールド説明
prefcode	都道府県コード
prefname	都道府県名称

5-16 <meshcode\_city>

フィールド名	フィールド説明
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
meshlevel	標準地域メッシュの階層
meshcode	メッシュコード

5-16 <meshcode\_pref>

フィールド名	フィールド説明
prefcode	都道府県コード
meshlevel	標準地域メッシュの階層
meshcode	メッシュコード

5-16 <xy\_meshcode2・xy\_meshcode3>

フィールド名	フィールド説明
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
meshcode	メッシュコード

5-16 <city>

フィールド名	フィールド説明
prefcode	都道府県コード
citycode	市区町村コード
cityname	市区町村名称

## 5-17 地理情報システム用情報 TBL 群

<テーブル構成>

テーブル名	テーブル説明	主キー	
xy_utm54	緯度経度とUTM54座標の対応	x y	地点データ
meshpoly_utm54	UTM54座標系でのメッシュポリゴン	meshcode	メッシュデータ

5-17 <xy\_utm54>

フィールド名	フィールド説明
x	経度(ミリ秒)
y	緯度(ミリ秒)
x_utm54	東西方向座標(m)
y_utm54	南北方向座標(m)

5-17 <meshpoly\_utm54>

フィールド名	フィールド説明
meshcode	メッシュコード
poly_utm54	ポリゴンデータ文字列

## 参考文献

- ALSOFT (1998) 『GEO CONCEPT ユーザーズマニュアル』 伊藤忠テクノサイエンス  
籠義樹・高辻秀興 (2000) 補間地価を用いた地域資産価値評価に関する研究. 日本計画行政学会  
第 23 回全国大会報告要旨集
- 国土地理院 (1994) 『数値地図ユーザーズガイド』
- M.ドバーグ・M.ファンクリベルド・M.オーバマズ・O.シュワルツコップ (2000) 『コンピュー  
タ・ジオメトリ』 浅野哲夫訳、近代科学社
- P. A. パーロー (1996) 『地理情報システムの原理』 安仁屋政武・佐藤亮訳、古今書院
- 室田一雄 (1999) 計量的情報の基本処理 in 『計算幾何学と地理情報処理』 伊理正夫監修・腰塚  
武志編集、共立出版、29~56